

RELACION DE PARTICIPANTES AL SEMINARIO SEMINARIO DE
DESARROLLO AGRICOLA EN ZONAS RURALES.

Proyecto Agrícola:

Dr. Yoshinori Fujii Líder del Proyecto.
Experto en Agroecología.

Ing. Juan Antonio Flores E. Gerente de Investigación y
Desarrollo de ESSA.

Expertos de Largo Plazo:

Lic. Yetsuya Kawakami Coordinador de JICA.
M.C. Masanori Toyota Experto en Ciencia de Cultivos.
Ing. Teisshi Ariyoshi Experto en Agroecología.
Dr. Kenro Kimii Experto en Riego y Drenaje.

Expertos de Corto Plazo:

Dr. Sekiya Oe Experto en Manejo de Cultivos.
Dr. Sadahiro Yamamoto Experto en Ciencias de Suelos

Colaboradores:

Dr. J. Humberto Hernández H. Coordinador ESSA.
Ing. David Raúl López A. Ciencias del Suelo.
Ing. César Fiol Agroecología.
Ing. Mario Benson R. Ciencia de Suelos.
Ing. Alvaro González H. Riesgo y Clima.
Ing. Eduardo Villavicencio C. Riesgo y Drenaje.
Ing. Isidro Flores A. Fruticultura.
Ing. Marco Antonio Real P. Validación de Cultivos.
Sr. Armando Lucero A. Ciencia de Cultivos.

C.E.S.A.:

Ing. Guiblanac Rangel Alcaraz Director de Promoción y
Desarrollo
Ing. Eusebio Domínguez H. Coordinador de Apoyo Técnico.

ESSA:

Ing. Juan I. Brewer G. Director General de ESSA
Lic. C. Pauli Lyle Fritch Subdirector Administrativo ESSA

R
A
1

JICA en México:

Ing. Hiroshi Sato,
Lic. Seiji Kato

Director General
Subdirector JICA - México.

SEMI - MEXICO:

Ing. Shin Inai

Asesor de Planeación de la Dir.
de Asuntos Internacionales SEMI.

Lic. Martha Flores Cervantes

Jefe Dpto. de Coop. para Asia,
África y la Cuernca del Pacífico.

Universidad Autónoma Agraria "Antonio Narro":

Dr. Eleuterio Lopez Pérez
Ing. J. Angel de la Cruz B.

Rector de la UAAAN.
Dir. de Comunicación y Ext.

Universidad Autónoma de Zacatecas:

Lic. Virgilio Rivera Delgado
Ing. Jesus Valleja Cadengo

Rector de la U.A.Z.
Dir. de la Facultad de Agronomía

Gobierno del Estado de Zacatecas:

Ing. Leobardo Casanova M.

Secretaría de Desarrollo Rural del
Gobierno del Estado.

Secretaría de Desarrollo Social:

Lic. Alfonso Delgado Arcega.

Delegado Estatal en Zacatecas.

Secretaría de Agricultura y Recursos Hidráulicos:

Ing. José Miguel Trejo Luna M.

Delegado Estatal en Zacatecas.

Asociación de Productores Hortícolas: A SEME

Comisión Nacional de Zonas Áridas:

Lic. Marco Antonio Pascual Horzayo.
Ing. José Angel de la Cruz Campa.
Ing. Roberto Montero Cervantes.
Lic. Julian García Reyes.

Director General.
Director de Investigación.
Director de Operación.
Delegado Estatal en
Zacatecas



附属資料 2. 分野別進捗状況一覧 (プロジェクトとりまとめ)

部門別詳細実施計画進捗状況

農業生態学部門

課 題	活 動 内 容 (1992年9月~1993年8月)	C/P理解度
<p>I-1 病気及び害虫による作物病害虫の観察</p> <p>I-1-1 病虫害の圃場診断</p> <p>I-1-2 病原体、害虫の同定</p> <p>I-1-3 圃場における病原体、害虫の密度測定</p>	<p>害虫に関して、コナガ、ハモグリバエは年間通じて発生を確認。夏期多発害虫はコナジラミ、タバコガ、スズメガ。病害についてはウリ科のウドンコ病、ナス科の苗立枯病を確認。</p> <p>根瘤線虫(ネマトーダ)の密度測定指導。</p>	<p>ネマトーダに関しては本邦での研修、当地での試験を通じかなりの知識を有している。当地で発生する病虫害については、ほぼ診断同定が可能な能力を有している。</p>
<p>I-2 病原体、害虫の圃場内での生態調査</p> <p>I-2-1 病原体、害虫のライフサイクル</p> <p>I-2-2 病原体、害虫の伝搬様式</p> <p>I-2-3 栽培法と病虫害発生との関係</p>	<p>ハモグリバエ、タバコガ、スズメガを飼育、ライフサイクルの調査指導を継続中。</p> <p>周年栽培試験を通じ病虫害発生暦作成を指導中。</p>	<p>過去3年間の病虫害に関する学習・研究活動において、発生病虫害と発生時期に関するデータが集積されていない。</p>
<p>I-3 乾燥地に適した病虫害防除法の確立</p>	<p>トマトの線虫抵抗性品種の栽培試験、クロタラリアの間作、薬剤による防除等を指導し、臭化メチルによる線虫防除の顕著な効果を確認。</p> <p>カラバシータに発生するウドンコ病についての数種の農薬の効果比較試験を指導中。</p> <p>なお当地においては壊滅的な被害を発生する病原体はこれまで認められていない。</p> <p>キュウリを使用したハモグリバエ防除の農薬効果試験を指導中。</p> <p>なお虫害は、7月以降に発生するコナジラミ、タバコガ、スズメガ、及び年間通じて発生するものの夏期多発するハモグリバエの防除については早急な対策が必要。</p>	<p>これまで農業効果比較試験の実績がないため、助に頼った薬剤防除を行っている。農業についての知識はかなりある。</p>
<p>I-4 野菜の周年栽培技術の検討</p> <p>I-4-1 トマト、キャベツ、ベタベル、アセルガ、タマネギ、カラバシータ</p> <p>I-4-2 その他有望作物</p>	<p>主要野菜のトマト、チレ、タマネギ各3品種及びメロン、スイカを半月毎に播種し、周年栽培試験を指導中。タマネギに関しては5月以降の播種は健全な定植苗が得られないことが判明。本試験は1年間継続予定。育苗土選定試験を指導。チレ周年栽培試験実施中。</p>	<p>過去の栽培試験状況や栽培中の作物状態からみて、播種から収穫まで栽培期間中の生育診断、健全な作物を育てる技術などが十分とは言えない。専門的な知識の習得には熱心であるが基本的な栽培については軽視する傾向がある。</p> <p>農業経営で基本となる周年栽培試験の重要性を徐々に理解してきている。</p>

作物学部門

課 題	活 動 内 容 (1992年9月~1993年8月)	C/P理解度
<p>II-1 野菜の生長解析法習得</p> <p>II-1-1 圃場試験法</p> <p>II-1-2 生長解析法</p> <p>II-1-3 収穫物調査法</p> <p>II-1-4 光合成・蒸散能測定法</p>	<p>各圃場試験毎に指導。</p> <p>基本的生育データ収集法は各試験毎に指導。 生長関数に関する指導はFUAN L. に対しては実施したが、ARMANDO L. に対しては未済。 収穫量以外に形状調査、糖度調査等を指導。</p> <p>測定原理の教授、測定法、メンテナンスの技術指導及び技術移転。測定実習を4回実施。</p>	<p>圃場の土壌が不均一で場所による生育差が激しいため、実験区構成の重要性は理解している。基本的生育データの収集は問題ないが、生育調査の計画や取得したデータのファイリングに厳密さが欠ける。生長関数理解には時間が必要。 上記項目と同様、計画性やデータのファイリングが不得意である。統計処理習得にはさらに努力必要。 測定自体はさほど複雑な操作を必要としないので可能だが、測定原理、メンテナンス習得にはまだ時間が必要。光合成・蒸散生理についての知識が不十分なので、C/P自身の努力が必要。</p>
<p>II-2 野菜の耕種法の確立</p> <p>II-2-1 育苗法</p> <p>II-2-2 栽植密度・耕種法の確立</p> <p>II-2-3 仕立て法の確立 (トマト、メロン、スイカ)</p> <p>II-2-4 ホルモン類の使用法の確立</p>	<p>床土の種類、育苗ポットのサイズ、温度、水、施肥、農薬管理等について指導。 現地プラグ苗と日本の育苗ポットの相違が生育に及ぼす影響について試験を指導。 チレ、メロン、スイカ、キュウリ、カラバシータで栽植密度の試験を指導中。</p> <p>メロン、スイカの仕立て法の試験を指導。 トマトについては、栽培は実施したがデータはとっていない。 トマトーンによるトマト着果試験指導。 処理方法の技術指導。</p>	<p>最近、育苗管理の重要性を認識し、よく管理するようになった。ただ、よい苗を育てても計画性不足から定植時期を逸し、老化苗を定植するようなことが見られる。 単位収量を上げるため、その土地の作物生育状況に合わせて栽植密度を選択する必要性についての理解はしている。</p> <p>メロン、スイカの仕立ては、実習を通じて理解した。 仕立て、摘果の重要性は認識している。 トマトーンの着果率向上効果を理解させた。 処理方法についても理解した。</p>
<p>II-3 野菜の有望品種の選定</p> <p>II-3-1 トマト、キャベツ、ベタベル、タマネギ、カラバシータ</p> <p>II-3-2 その他の有望作物品種の選定</p>	<p>トマト、タマネギ、チレ、レタスについて品種選定試験法を指導。</p> <p>品種比較試験法について技術指導。</p>	<p>品種選定の重要性について認識している。ただし品種選定のための種子購入の計画性がなく、管理は行き届いていない。多品種を少量ずつ揃えるために、小袋の購入ルートを調査中。</p>
<p>II-4 灌漑法・施肥法を含む総合的耕種法の確立</p>	<p>タマネギ7品種について、異なる窒素量が生育に及ぼす影響を調査中。 また灌水量の相違がトマト、チレの生育に及ぼす影響についての試験手法指導。 従来の液肥のみによる追肥主体施肥法を、元肥を取り入れた施肥法に代えての実験を指導中。</p>	<p>新圃場の不良な土壌環境、駆除の困難な害虫等も原因ではあるが、基本的な栽培ができているとは言えない。作物、生育状況に合わせて、灌漑法、施肥法を含む耕種法を工夫できる応用力をつけるよう各専門家の協力を得ながら指導する必要がある。</p>

課 題	活 動 内 容 (1992年9月～1993年8月)	C/P理解度
<p>Ⅲ-1 施肥法の検討</p> <p>Ⅲ-1-1 使用肥料の決定</p> <p>Ⅲ-1-2 施肥量の決定</p> <p>Ⅲ-1-3 施肥時期の決定</p>	<p>窒素肥料の形態別（尿素、硝安、硫安）肥効試験を指導。</p> <p>チレ、カリフラワー、キャベツ、ベタベル、トマト、タマネギ、メロン、スイカ、ニンジンについて実施。（メロン、スイカ、ニンジンは未済）</p> <p>肥料分施肥の指導（土壌中での肥料成分の動向と関連：とくに窒素成分について）。</p>	<p>C/P単独実施★</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>★作物栽培上、土壌の何が制限因子になっており、それを克服するにはどうすべきかを作物生理と合わせて考え実践させる必要あり。</p> </div> <p>C/P単独実施★</p> <p>元肥無し週1回の全作物画一的施与体系の作物生育に対する不合理性は理解した。しかし各種作物別に生育ステージに対応した施肥体系確立には至っていない。</p>
<p>Ⅲ-2 施肥量と養分収奪量のバランスの調査</p> <p>Ⅲ-2-1 化学分析法の習得</p> <p>Ⅲ-2-2 調査の実行</p>	<p>MARIO BENSON 鳥取大学農学部で研修（1992年度）。</p> <p>チレ、カリフラワー、キャベツ、ベタベル、トマト、タマネギについて実施。</p> <p>（調査養分：N、P、K、Ca、Mg）</p>	<p>植物体の分析に関しては両C/Pとも問題なく行える。</p> <p>C/P単独実施★</p>
<p>Ⅲ-3 土壌中での養分の動向の追跡</p> <p>Ⅲ-3-1 分析法の習得</p> <p>Ⅲ-3-2 追跡の実行</p> <p>Ⅲ-4 土壌調査・分類法の習得</p>	<p>土壌化学分析法の指導。</p> <p>①土壌無機態窒素（アンモニア、硝酸）分析法</p> <p>②イオンクロマトグラフィー分析・保守管理法</p> <p>③イオンクロマトによる土壌成分分析法</p> <p>④土壌微量元素（Fe、Zn）分析法</p> <p>⑤土壌水飽和抽出分析法 等</p> <p>土壌物理性分析法の指導（粒径分析）。</p> <p>MARIO B. 鳥取大学農学部で研修（1992年度）。</p> <p>施肥窒素成分の動向調査実施。土壌の硝酸化生成能調査指導。チレ生育不良圃場の土壌診断の実施。</p> <p>土壌断面調査法・記載法指導。圃場土壌断面調査実施。</p>	<p>イオンクロマトグラフィーの操作法、特に良好な状態を維持するための保守管理面に不安が残る。本格的に使いこなすには、まだ長時間のトレーニングが必要である。</p> <p>他の土壌分析に関しては概ね問題なく実施できる。</p> <p>従来の施肥方法による土壌中での窒素成分の動向と作物生育との関連を理解し、これらの点を踏まえ、より良い作物生育をもたらすための施肥法の改善に取り組む運びとなった。</p> <p>土壌調査法の体系は理解したが、C/P単独での土壌断面調査及び記載には、あと数回の調査実習が必要である。</p>

灌 溉 部 門

課 題	活 動 内 容 (1992年9月～1993年8月)	C/P理解度
IV-1 節水栽培のための灌漑技術の確立		
IV-1-1 土壌物理性の分析方法の習得	<p>灌漑計画において必要な土壌物理性試験技術を指導。とくに土壌水分と簡易テンシオメータの読み取り値との関係および土壌の保水性、透水性試験法について指導。</p> <p>現在、現地圃場で深度別に土壌のサンプリングを行い、土壌の物理性に関するデータ作成および整理技術指導中。</p>	概ね理解できているようである。
IV-1-2 沙漠地に適した灌漑法の検討	<p>スプリンクラー灌漑法、点滴灌漑法等の異なる灌漑法での灌漑効果の比較は行われていない。今後、実施予定。</p>	
IV-2 耕作条件下における野菜別、生育時期別の灌漑技術の確立	<p>点滴灌漑による灌水量・灌水間隔試験をトマト、キャベツに対して実施。トマトの場合の作物係数として、大型蒸発計からの蒸発量の1/6、1/3、1/2、2/3を試みた結果、作物係数1/2において最大の収量を得た。キャベツの場合も同様な試験を行った結果、作物係数1/6においては全く収量が得られず、他の場合には大きな相違はなかった。</p> <p>現在、圃場では、チレ、スイカ、キュウリについて、同様の試験の指導を継続中。今後、これら作物に対して適切な灌漑水量および作物係数等についての指導を計画。</p>	一連の作業、データ収集、整理については理解できているようである。しかしながら、現地圃場で節水栽培を行う目的にもかかわらず点滴チューブ等の管理が悪く破損箇所からの水損失が極めて大きく灌漑水量のデータ自体に信頼性がない。
IV-3 生活雑排水処理水ならびに塩水の灌漑利用	<p>塩水の灌漑利用について基礎的な実験法を指導。</p> <p>収最等の調査については実績なし。</p> <p>生活雑排水については果樹部門で実施中。</p>	
IV-4 農業気象の調査・解析方法の習得		
IV-4-1 気象観測	<p>気象観測装置の維持管理、調査法、記録のとりまとめ方について指導。今後、8 inchフロッピー内のデータ整理・利用について指導を計画。</p>	概ね、気象月報として、資料を整理することができる。気象観測装置の維持管理については、さらに指導を要する。
IV-4-2 農業気象の解析方法	<p>気象データを灌漑水量算定に活用するための計算や、週間データの整理・解析の指導は未済。早急に実施予定。</p>	

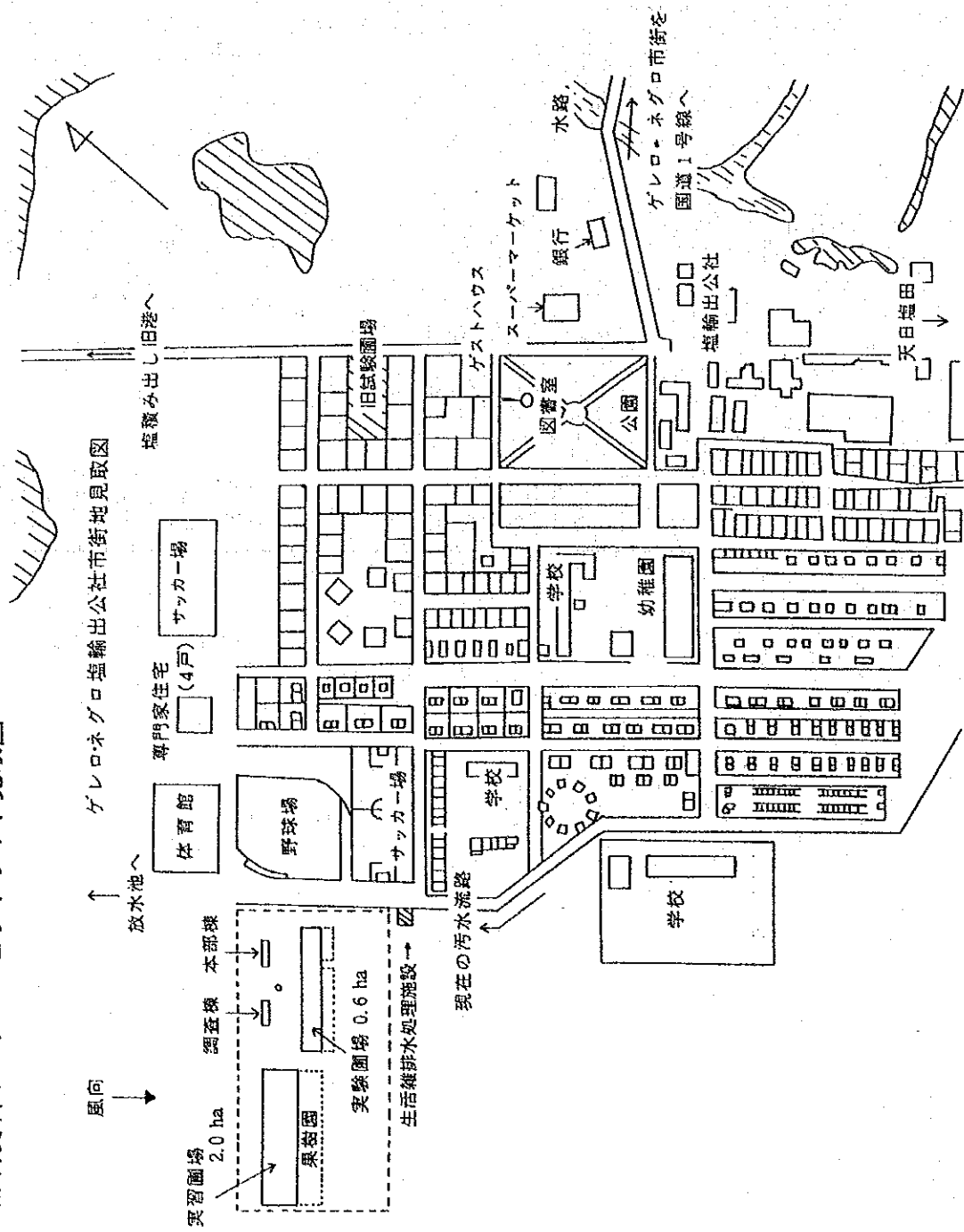
果樹・飛砂防止部門

課 題	活 動 内 容 (1992年9月～1993年8月)	C/P理解度
V-1 土壤侵食、飛砂防止のための防風林利用法の確立	当部門は専門家の派遣がなく、現地での技術移転は行われていない。	専門家派遣がなかったことから、理解度は低いと考えられる。なお、本部門の基幹である果樹栽培技術は、他部門専門家の兼任が困難な点を考えれば、果樹専門家の派遣が急務である。
V-1-1 乾燥地に適した防風林用樹種の選抜	現在まで実績なし、今期(11月～12月)の短期専門家による指導を実施。	
V-1-2 各樹種に対する灌水法の確立	指導実績なし。	
V-2 乾燥地に適した台木と穂木の選抜		
V-2-1 数種の果樹の台木の選抜 ○ 桃、柿、林檎、梨、イチジク	指導・学習実績なし。	理論的には鳥取大学農学部で研修しているが、実地応用技術となると心許ない。
V-3 果樹の栽培法の確立	オレンジ、ミカン、レモン、リンゴ、ナシ、モモ、イチジク、ブドウ等の果樹について自己学習している。	果樹類の初期生育と灌水に対する基本的な理解ができていないようである。各果樹への対応が画一的で弾力性がない。 なお、当地での適作樹種としては、レモン等の柑橘類とイチジク及びブドウと考えられる。リンゴ、ナシ、モモなどは生育が非常に悪い。 基本的技術は十分に習得している。
V-3-1 仕立と剪定法の習得	ISIDRO F. 鳥取大学農学部研修中に技術習得。	
V-3-2 高収量、高品質の果樹生産法の確立	指導学習実績なし。	
V-3-3 生育調整剤の利用法の確立	指導実績なし。	(当地方において、本項は必要か?)
V-3-4 雑草および病害虫対策の確立	自己学習している。	
V-4 生活雑排水処理水ならびに塩水の灌漑利用	ISIDRO F. 鳥取大学農学部で研修中、生活雑排水処理機メーカーにて1か月研修。生活雑排水処理技術を習得。(1991年12月～1992年12月) 現在、花卉類にて処理水灌漑試行中。 なお、生活雑排水処理施設の拡充、同利用技術に関する指導は、今期(9月～10月)の短期専門家が実施。	技術・理解度ともに良好。現在は花卉類にのみ生活雑排水処理水の灌漑を試行しているが、処理水の水質に関する理解度はかなり高い。

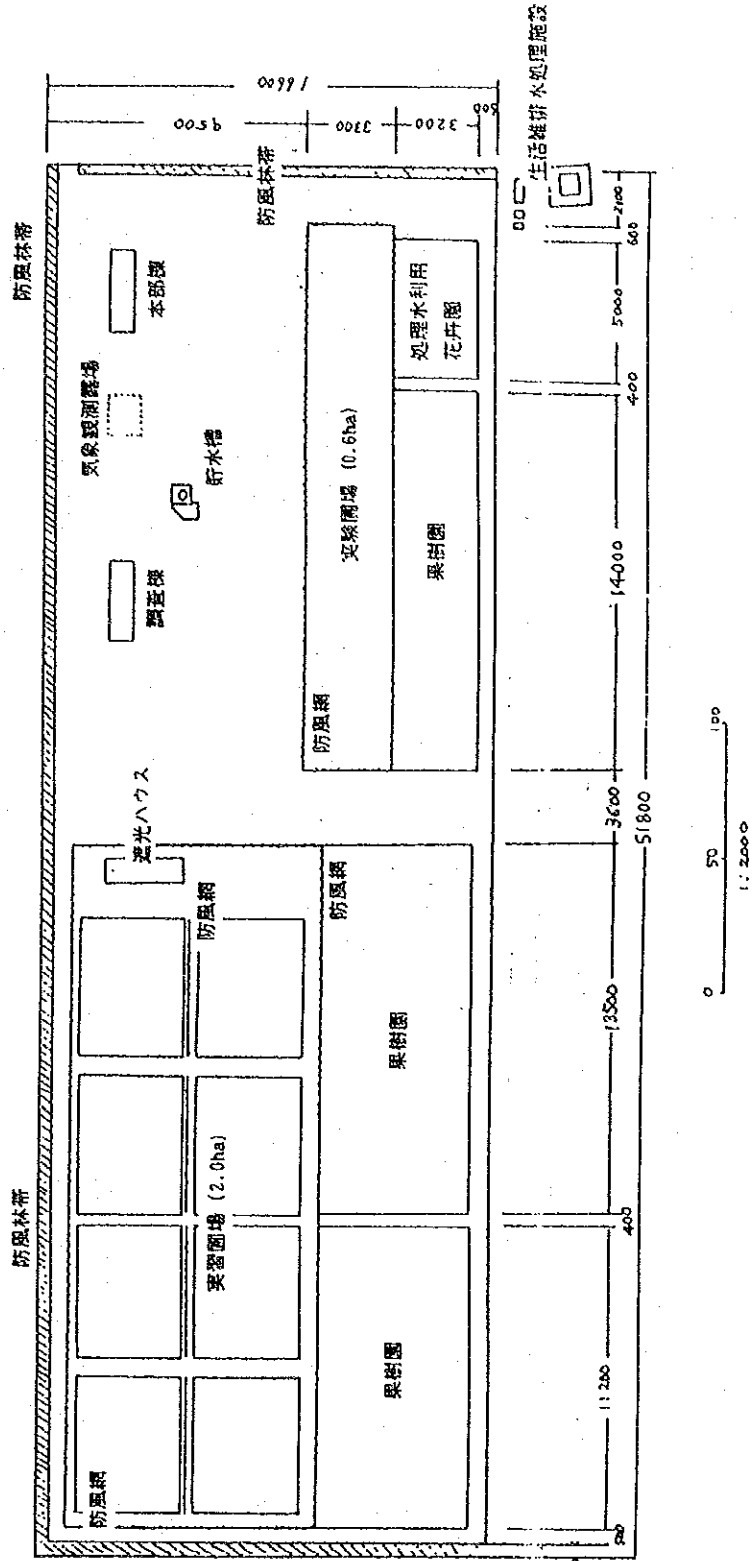
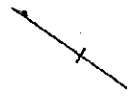
メキシコ人要員訓練のための教材、訓練用カリキュラムの作成

課 題	活 動 内 容 (1992年9月～1993年8月)	C/P理解度
VI-1 メキシコ人要員のための適正栽培技術にかかわるオンザ・ジョブ・トレーニング	栽培管理の基本的技術として、スイカの育苗技術（接ぎ挿し法）を指導。 一部のC/Pにはウリ類の仕立整枝技術を指導。 育苗ハウス管理技術の再訓練を計画。	作物栽培技術の基本がほとんどできていないことを痛感。今年中に基本技術を再指導する計画である。
VI-2 カリキュラム作成のための助言と指導	教材・訓練用カリキュラムの基本となる、耕種計画表の作成を全C/Pに指示。 過去3年間に実施した耕種実施表を早急に作成させ、各作物の栽培暦、経営組織計画表（作付順序計画）などの作成について指導する予定。	すでに栽培・試験してきた各種作物の、栽培に関する基本的データを集録していない様子で、耕種計画表が作成できない。
VI-3 教材作成のための助言と指導	コンピュータに関する基礎技術を実習中。 研究論文集発刊の指導。	理解度はかなり良好。科学論文のまとめ方、論文集の編集などの理解はできたと考えられる。

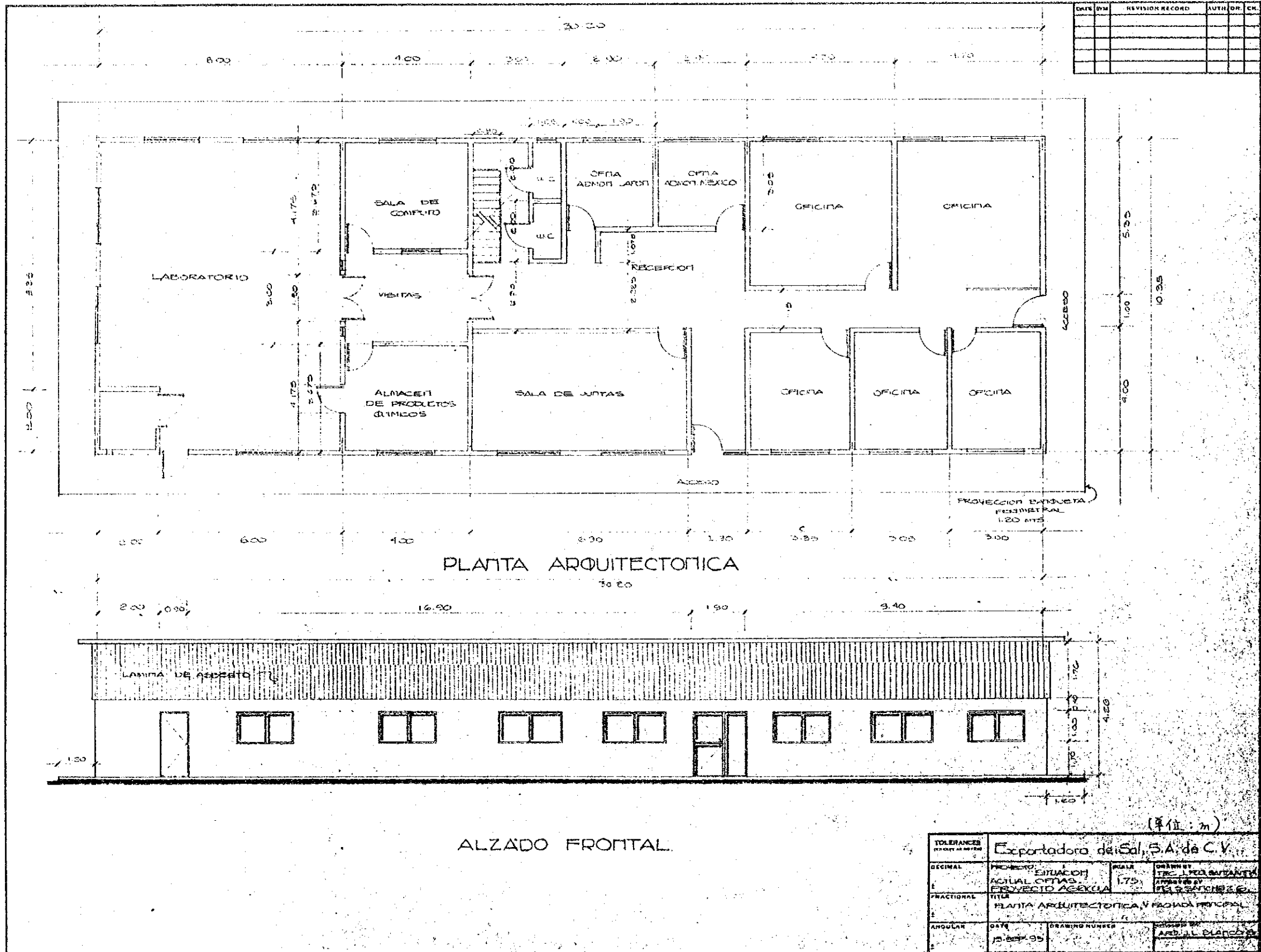
附属資料 3. プロジェクトサイト見取図



プロジェクトサイトの見取図



本館見取図



DATE	BY	REVISION RECORD	AUTH.	DR.	CR.

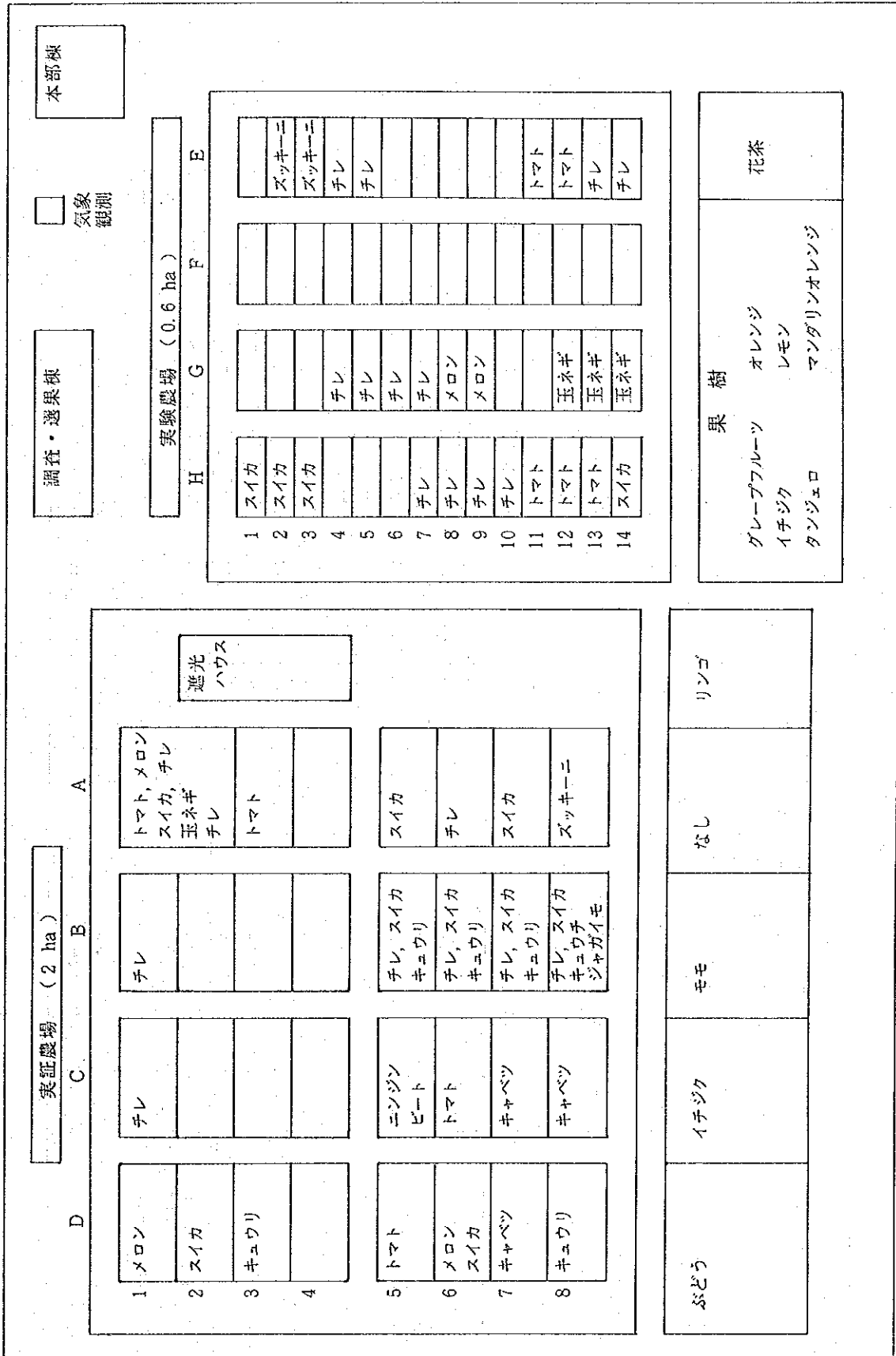
(単位: m)

TOLERANCES PER POINT AS NOTED	Exportadora de Sal, S.A. de C.V.		
DECIMAL	PROJECT	SCALE	DRAWN BY
1	ESTACION AGUAL OFINAS. PROYECTO AGEXIA	1:75	TRC. L. P. G. GARCIA
FRACTIONAL	TITLE	DRAWN BY	
1	PLANTA ARQUITECTONICA Y FACHADA PRINCIPAL	TRC. L. P. G. GARCIA	
ANGULAR	DATE	DRAWING NUMBER	DESIGNED BY
1	15-08-95		ARJUL PLANCOS

K-E CRYSSTALINE P 17-33 ENGINEERS' STANDARD FORM

MADE IN U.S.A.

作付状況 (平成5年8月現在)



耕種 (結果) 表 1992. 8 ~ 1993. 7

作物名	圃場番号	畝間×株間 cm	(管数)	面積 m ²	播種日	定植日	収穫開始	収穫終了	1 ha収量 (t)
カボチャ (ス'キニ)	E-2, 3	60×70	(2)	180	93.05.18	93.06.14	93.07.10		
	A-2	84×40, 50, 60	(6)	252	93.06.01	93.06.30			
キヤベツ	H-4~6	60×40	(3)	270	93.02.12	93.03.26	93.05.24	93.06.21	42.0
	D-2	84×40	(3)	126	93.05.27	93.06.30	生育中		
	D-2	168×30, 40, 50	(4)	168	93.07.05	93.07.23	生育中		
	B-2	84×50	(8)	336	93.07.07	93.07.28			
スイカ	D-1	160×100	(6)	500	93.04.23	93.06.10	93.09.15		
	B-2	×100	(4)	80	93.05.11	93.06.02	93.08.03		
	A-2	84×150	(3)	126	93.05.14	93.06.07			
タマネギ	B-2	84×20	(16)	672	92.12.02	93.02.26	93.6		
	H-8~10	60×50	(3)	276	92.07.20	92.09.01	93.01.15		10.0
チレ	G-2~5	60×50	(4)	360	93.04.12	93.05.24			
	B-2	84×40	(8)	336	93.04.27	93.06.09			
	E-4, 5	80×40	(3)	270	93.04.30	93.07.05	93.08.15		
	B-2	80×40	(4)	160	93.05.19	93.05.26	生育中		
	A-2	84×30, 40, 50	(12)	504	93.05.26	93.08.06			
								93.01.10	20.0
トマト	A-2	60×50	(3)	250	92.08.07	92.09.12	92.		
	D-2	168×50	(6)	50	93.05.12	93.06.12			
	E-12, 13	120×50	(2)	180	93.05.18	93.06.22	93.08.30		
	A-1	60×50	(4)	160	93.06.04	93.07.06	生育中		
ビート (A'PA'N)	H-13, 14	45×30	(4)	180	93.02.09	93.03.19	93.05.20	93.06.08	26.0
	B-2	84×30	(8)	336	93.03.04	93.04.24	93.06.14	93.07.08	
メロン	D-1	160×100	(6)	500	93.04.23	93.06.14	93.08.25		
	G-9~11	200×50	(3)	170	93.	93.06.22	生育中		
	A-1	62×50	(2)	62	93.06.08	93.07.03	生育中		

附属資料 4. 成果品出荷状況 (1992年及び1993年)

プロジェクトからESSAへの野菜の納入

日付	品目	個 No.	量	単位	単価	小計	合計
11月06-92	IACELGAS	001	50	MAZOS	1,000	50,000	
" 09 "	IACELGAS	003	20	"	1,000	20,000	
" 11 "	IACELGAS	004	50	"	1,000	50,000	
" 14 "	IACELGAS	005	19	"	1,000	19,000	
" 23 "	IACELGA	008	50	"	1,000	50,000	
" 27 "	IACELGA	009	60	"	1,000	60,000	
" 30 "	IACELGA	010	50	"	1,000	50,000	299,000
12月03	IACELGA	011	50	MAZOS	1,000	50,000	
" 10 "	IACELGA	012	50	"	1,000	50,000	
" 13 "	IACELGA	013	37	"	1,000	37,000	
" 17 "	IACELGA	014	70	"	1,000	70,000	
" 20 "	IACELGA	015	60	"	1,000	60,000	
" 24 "	IACELGA	016	50	"	1,000	50,000	317,000
3月-05	IACELGA	017	60	MAZOS	1,000	60,000	
" 09 "	IACELGA	018	60	"	1,000	60,000	
" 12 "	IACELGA	019	60	"	1,000	60,000	
" 16 "	IACELGA	020	60	"	1,000	60,000	
" 26 "	IACELGA	023	35	"	1,000	35,000	
" 30 "	IACELGA	024	60	"	1,000	60,000	335,000
14月02-92	IACELGA	025	62	MAZOS	1,000	62,000	
" 06 "	IACELGA	026	70	"	1,000	70,000	
" 09 "	IACELGA	027	30	"	1,000	30,000	
" 21 "	IACELGA	028	35	"	1,000	35,000	
" 23 "	IACELGA	029	37	"	1,000	37,000	
" 30 "	IACELGA	031	35	"	1,000	35,000	269,000
15月21-92	IACELGA	037	25	MAZOS	1,000	25,000	
" 25 "	IACELGA	038	75	"	1,000	75,000	
" 28 "	IACELGA	039	77	"	1,000	77,000	177,000
16月01-92	IACELGA	040	82	MAZOS	1,000	82,000	
" 04 "	IACELGA	041	100	"	1,000	100,000	
" 15 "	IACELGA	045	72	"	1,000	72,000	
" 18 "	IACELGA	046	25	"	1,000	25,000	
" 22 "	IACELGA	047	52	"	1,000	52,000	
" 25 "	IACELGA	047-BIS	48	"	1,000	48,000	
" 29 "	IACELGA	048	50	"	1,000	50,000	429,000
17月13-92	IACELGA	051	37	MAZOS	1,000	37,000	
" 20 "	IACELGA	052	12	"	1,000	12,000	49,000
10月05-92	IACELGAS	071	35	MAZOS	1,000	35,000	
" 08 "	IACELGAS	072	19	"	1,000	19,000	
" 15 "	IACELGAS	074	17	"	1,000	17,000	
" 26 "	IACELGAS	075	33	"	1,000	33,000	
" 29 "	IACELGAS	076	35	"	1,000	35,000	139,000
11月-05-92	IACELGAS	077	29	MAZOS	1,000	29,000	
" 09 "	IACELGAS	078	34	"	1,000	34,000	
" 12 "	IACELGAS	080	39	"	1,000	39,000	
" 19 "	IACELGAS	082	20	"	1,000	20,000	
" 23 "	IACELGAS	083	23	"	1,000	23,000	
" 26 "	IACELGAS	084	20	"	500	10,000	
" 30 "	IACELGAS	085	19	"	500	9,500	164,500

日付	品目	体 No.	量	単位	単価	小計	合計
12月-03-92	ACELGAS	086	20	MAZOS	500	10,000	
" 07 "	ACELGAS	088	24	"	500	12,000	
" 10 "	ACELGAS	089	30	"	500	15,000	
" 14 "	ACELGAS	090	30	"	500	15,000	
" 17 "	ACELGAS	091	30	"	500	15,000	
" 21 "	ACELGAS	092	29	"	500	14,500	
" 28 "	ACELGAS	093	55	"	500	27,500	109,000
1月-21-92	BETABEL	007	30	MAZOS	800	24,000	2,287,500
" 27 "	BETABEL	009	13	"	1,200	15,600	39,600
2月-13-92	BETABEL	013	35	MAZOS	800	28,000	
" 17 "	BETABEL	014	36	"	800	28,800	
" 20 "	BETABEL	015	29	"	800	23,200	
" 24 "	BETABEL	016	20	"	800	16,000	95,000
3月-05-92	BETABEL	017	20	MAZOS	800	16,000	
" 09 "	BETABEL	018	26	"	800	20,800	
" 12 "	BETABEL	019	25	"	800	20,000	
" 16 "	BETABEL	020	30	"	800	24,000	
" 19 "	BETABEL	021	20	"	800	16,000	
" 23 "	BETABEL	022	35	"	800	28,000	
" 26 "	BETABEL	023	35	"	800	28,000	152,800
4月-02-92	BETABEL	025	29	MAZOS	800	23,200	
" 06 "	BETABEL	026	59	"	800	47,200	
" 21 "	BETABEL	028	28	"	800	22,400	92,800
5月-04-92	BETABEL	032	23	MAZOS	800	18,400	
" 07 "	BETABEL	033	25	"	800	20,000	
" 11 "	BETABEL	034	29	"	800	23,200	
" 14 "	BETABEL	035	30	"	800	24,000	
" 18 "	BETABEL	036	31	"	800	24,800	
" 21 "	BETABEL	037	38	"	800	30,400	
" 25 "	BETABEL	038	37	"	800	29,600	
" 28 "	BETABEL	039	30	"	800	24,000	194,400
6月-01-92	BETABEL	040	30	MAZOS	800	24,000	
" 04 "	BETABEL	041	30	"	800	24,000	
" 08 "	BETABEL	043	45	"	800	36,000	84,000
7月-20-92	BETABEL	052	31	MAZOS	800	24,800	
" 23 "	BETABEL	053	24	"	800	19,200	44,000
8月-10-92	BETABEL	056	21	MAZOS	800	16,800	
" 17 "	BETABEL	058	18	"	800	14,400	
" 27 "	BETABEL	061	17	"	800	13,600	44,800
9月-07-92	BETABEL	064	14	MAZOS	800	11,200	
" 10 "	BETABEL	066	27	"	800	21,600	32,800
10月-05-92	BETABEL	071	22	MAZOS	800	17,600	17,600
1月-21-92	BROCOLI	007	14	MAZOS	1,000	14,000	798,800
" 27 "	BROCOLI	009	25	"	2,143	53,572	67,572
2月-17-92	BROCOLI	014	17	MAZOS	2,143	36,429	36,429
3月-09-92	BROCOLI	018	11	MAZOS	2,143	23,571	
" 23 "	BROCOLI	022	30	"	2,857	85,714	
" 26 "	BROCOLI	023	25	"	2,857	71,429	180,714
4月-02-92	BROCOLI	025	15	MAZOS	2,857	42,857	

日付	品目	数量	単位	単価	小計	合計
06	IBROCOLI	7		2,857	20,000	
09	IBROCOLI	15		2,857	42,857	
27	IBROCOLI	25		2,429	60,714	
30	IBROCOLI	10		2,750	27,500	193,928
5月-04-92	IBROCOLI	16	KAZOS	2,750	44,000	44,000
4月-06-92	ICALABACITA	18	KGS.	1,770	31,862	
09	ICALABACITA	22		1,846	40,613	
21	ICALABACITA	23		1,875	43,125	
23	ICALABACITA	32		1,650	52,800	
27	ICALABACITA	39		1,650	64,350	
30	ICALABACITA	48		1,905	91,428	324,181
5月-04-92	ICALABACITA	37	KGS.	2,103	77,895	
07	ICALABACITA	40		2,029	81,176	
11	ICALABACITA	38		1,630	61,926	
14	ICALABACITA	25		1,760	44,000	
18	ICALABACITA	31		1,760	54,560	
21	ICALABACITA	27		1,760	47,520	
25	ICALABACITA	23		2,232	51,339	
28	ICALABACITA	24		1,643	39,428	457,844
6月-01-92	ICALABACITA	28	KGS.	1,650	46,200	
04	ICALABACITA	14		1,556	21,778	
08	ICALABACITA	15		1,650	24,750	
11	ICALABACITA	16		1,385	22,154	
15	ICALABACITA	13		1,286	16,714	131,596
7月-23-92	ICALABACITA	50	KGS.	1,853	92,647	
27	ICALABACITA	63		1,370	86,333	
30	ICALABACITA	60		1,658	99,473	278,454
8月-10-92	ICALABACITA	20	KGS.	1,760	35,200	
13	ICALABACITA	7		1,844	12,910	
17	ICALABACITA	13		2,019	26,250	
20	ICALABACITA	9		1,929	17,357	
24	ICALABACITA	66		2,386	157,500	
27	ICALABACITA	34		2,109	71,719	
31	ICALABACITA	33		2,519	83,111	404,047
9月-03-92	ICALABACITA	15	KGS.	3,102	46,531	46,531
5月-11-92	ICEBOLLA	77		2,750	211,750	
14	ICEBOLLA	79		2,500	197,500	
18	ICEBOLLA	77		2,500	192,500	
21	ICEBOLLA	68		2,300	156,400	
25	ICEBOLLA	79		1,724	136,206	
28	ICEBOLLA	76		1,667	126,666	1,021,022
6月-01-92	ICEBOLLA BLANCA	35	KGS.	1,720	60,215	
04	ICEBOLLA BLANCA	85		1,301	110,557	
15	ICEBOLLA	52		1,324	68,824	
22	ICEBOLLA	68		806	54,809	294,434
7月-06-92	ICEBOLLA	69	KGS.	1,047	72,209	
20	ICEBOLLA	18		1,034	18,621	
23	ICEBOLLA	23		1,071	24,643	
27	ICEBOLLA	24		1,019	24,453	

日付	品目	体 No.	量	単位	単価	小計	合計
8月-30-92	ICEBOLLA 玉ねぎ	055	16		980	15,673	155,599
8月-10-92	ICEBOLLA	056	18	KGS.	1,083	19,489	
8月-17-92	ICEBOLLA	058	30	"	1,374	41,212	
8月-20-92	ICEBOLLA	059	41	"	1,227	50,323	
8月-24-92	ICEBOLLA	060	19	"	1,105	20,992	132,016
9月-14-92	ICEBOLLA	066BIS	69	KGS.	1,739	120,000	
9月-17-92	ICEBOLLA	067	33	"	1,611	53,154	
9月-28-92	ICEBOLLA	069	64	"	2,035	130,262	303,416
10月-01-92	ICEBOLLA	070	86	KGS.	2,157	185,528	
10月-05-92	ICEBOLLA	071	54	"	2,094	113,074	
10月-08-92	ICEBOLLA	072	37	"	1,705	63,082	
10月-12-92	ICEBOLLA	073	33	"	2,000	66,000	427,683
11月-27-92	ICEBOLLITA	009	21	MAZOS	458	9,618	9,618
12月-03-92	ICEBOLLIN	011	26	MAZOS	458	11,917	
12月-10-92	ICEBOLLIN	012	25	"	458	11,450	
12月-13-92	ICEBOLLIN	013	10	"	458	4,583	
12月-17-92	ICEBOLLIN	014	15	"	458	6,875	
12月-20-92	ICEBOLLIN	015	20	"	458	9,167	
12月-24-92	ICEBOLLIN	016	20	"	458	9,167	53,166
1月-09-92	ICEBOLLIN	018	30	MAZOS	500	15,000	
1月-16-92	ICEBOLLITA	020	24	"	500	12,000	
1月-19-92	ICEBOLLITA	021	25	"	500	12,500	
1月-23-92	ICEBOLLIN	022	56	"	500	28,000	67,500
5月-04-92	ICEBOLLIN	032	25	MAZOS	417	10,417	
5月-07-92	ICEBOLLIN	033	34	"	458	15,583	
5月-11-92	ICEBOLLIN	034	29	"	458	13,292	
5月-14-92	ICEBOLLIN	035	24	"	458	11,000	
5月-18-92	ICEBOLLIN	036	29	"	458	13,292	
5月-21-92	ICEBOLLIN	037	31	"	458	14,208	
5月-25-92	ICEBOLLIN	038	30	"	458	13,750	
5月-28-92	ICEBOLLIN	039	41	"	458	18,792	110,333
6月-01-92	ICEBOLLITA	040	25	MAZOS	458	11,458	11,458
6月-01-92	ICOLIFLOR カリフラワー	008	26	PIEZAS	1,200	31,200	31,200
3月-19-92	ICOLIFLOR	021	20	PIAS.	1,833	36,667	
3月-23-92	ICOLIFLOR	022	26	"	1,833	47,667	
3月-26-92	ICOLIFLOR	023	40	"	1,833	73,333	157,666
5月-04-92	ICHILE CALIFORNIA 唐辛子	032	29	KGS.	6,050	175,450	
5月-07-92	ICHILE CALIFORNIA	033	24	"	11,550	277,200	
5月-11-92	ICHILE CALIFORNIA	034	20	"	6,000	120,000	
5月-14-92	ICHILE CALIFORNIA	035	29	"	6,000	174,000	
5月-18-92	ICHILE CALIFORNIA	036	16	"	6,000	96,000	
5月-21-92	ICHILE CALIFORNIA	037	25	"	6,000	150,000	
5月-25-92	ICHILE CALIFORNIA	038	27	"	6,000	162,000	
5月-28-92	ICHILE CALIFORNIA	039	14	"	6,000	84,000	1,238,650
6月-01-92	ICHILE CALIFORNIA	040	38	KGS.	6,000	228,000	
6月-04-92	ICHILE CALIFORNIA	041	30	"	6,000	180,000	
6月-08-92	ICHILE CALIFORNIA	043	24	"	6,000	144,000	
6月-11-92	ICHILE CALIFORNIA	044	25	"	6,000	150,000	
6月-15-92	ICHILE CALIFORNIA	045	20	"	6,000	120,000	

日付	品目	イタ No.	量	単位	単価	小計	合計
18	ICHILE CALIFORNIA 唐辛子	046	28		6,000	168,000	
22	ICHILE CALIFORNIA	047	18		6,000	108,000	
25	ICHILE CALIFORNIA	047-BIS	14		6,000	84,000	
29	ICHILE CALIFORNIA	048	24		6,000	144,000	1,326,000
7月-02-92	ICHILE CALIFORNIA	049	15	KGS.	6,000	90,000	
06	ICHILE CALIFORNIA	050	18		6,000	108,000	
13	ICHILE CALIFORNIA	051	25		6,000	150,000	
20	ICHILE CALIFORNIA	052	11		6,000	66,000	
30	ICHILE CALIFORNIA	055	32		3,000	96,000	510,000
8月-10-92	ICHILE CALIFORNIA	056	48	KGS.	3,000	144,000	
13	ICHILE CALIFORNIA	057	25		3,000	75,000	
17	ICHILE CALIFORNIA	058	28		3,000	84,000	
20	ICHILE CALIFORNIA	059	17		3,000	51,000	
24	ICHILE CALIFORNIA	060	36		3,000	108,000	
27	ICHILE CALIFORNIA	061	19		3,000	57,000	
31	ICHILE CALIFORNIA	062	24		3,000	72,000	391,000
9月-03-92	ICHILE CALIFORNIA	063	22	KGS.	3,000	66,000	
07	ICHILE CALIFORNIA	064	18		3,000	54,000	
10	ICHILE CALIFORNIA	066	22		3,000	66,000	
14	ICHILE CALIFORNIA	066BIS	19		3,000	57,000	
17	ICHILE CALIFORNIA	067	17		3,000	51,000	294,000
10月-26	ICHILE CALIFORNIA	075	27	KGS.	2,700	72,900	
29	ICHILE CALIFORNIA	076	20	KGS.	2,700	54,000	126,900
11月-05-92	ICHILE CALIFORNIA	077	50	KGS.	2,700	135,000	
09	ICHILE CALIFORNIA	078	35		2,700	94,500	
12	ICHILE CALIFORNIA	080	22		2,700	59,400	
16	ICHILE CALIFORNIA	081	34		2,700	91,800	
23	ICHILE CALIFORNIA	083	47		2,700	126,900	
30	ICHILE CALIFORNIA	085	81		3,103	251,343	759,943
12月-07-92	ICHILE CALIFORNIA	088	68	KGS.	2,700	183,600	
10	ICHILE CALIFORNIA	089	38		2,700	102,600	
14	ICHILE CALIFORNIA	090	80		2,700	216,000	
17	ICHILE CALIFORNIA	091	21		2,700	56,700	
21	ICHILE CALIFORNIA	092	61		2,700	163,350	
28	ICHILE CALIFORNIA	093	95		2,700	255,150	977,400
11月-05-92	ICHILE GUERITO 赤ピーマン	077	2	KGS.	4,000	8,000	5,822,893
09	ICHILE GUERITO	078	2		4,000	8,000	
30	ICHILE GUERITO	085	3		3,500	10,500	26,500
12月-21-92	ICHILE GUERITO	092	7	KGS.	6,000	42,000	42,000
5月-04-92	ICHILE MORRON ピーマン	032	31	KGS.	4,583	142,083	
07	ICHILE MORRON	033	14		4,583	64,167	
11	ICHILE MORRON	034	16		4,583	73,333	
18	ICHILE MORRON	036	13		4,583	59,583	
21	ICHILE MORRON	037	21		4,583	96,250	
25	ICHILE MORRON	038	9		4,583	41,250	
28	ICHILE MORRON	039	11		4,583	50,417	527,083
6月-01-92	ICHILE MORRON	040	17	KGS.	4,583	77,917	
04	ICHILE MORRON		13		4,583	59,583	
15	ICHILE MORRON	045	12		4,583	55,000	192,500

日付	品目	イボ No.	量	単位	単価	小計	合計
7月-02-92	ICHILE MORRON	ピーマン	049	13	KGS.	4,583	59,583
" 13 "	ICHILE MORRON		051	15	"	4,583	68,750
" 20 "	ICHILE MORRON		052	6	"	3,800	22,800
8月-10-92	ICHILE MORRON		056	8	KGS.	3,800	30,400
" 27 "	ICHILE MORRON		061	6	"	3,800	22,800
" 31 "	ICHILE MORRON		062	8	"	3,800	30,400
9月-07-92	ICHILE MORRON		064	7	KGS.	3,800	26,600
" 14 "	ICHILE MORRON		066BIS	6	"	3,800	22,800
" 17 "	ICHILE MORRON		067	6	"	3,800	22,800
11月-05-92	ICHILE MORRON		077	12	KGS.	3,000	36,000
" 09 "	ICHILE MORRON		078	7	"	3,000	21,000
" 12 "	ICHILE MORRON		080	3	"	3,000	9,000
" 16 "	ICHILE MORRON		081	6	"	3,000	18,000
" 23 "	ICHILE MORRON		083	18	"	3,000	54,000
" 30 "	ICHILE MORRON		085	12	"	3,000	36,000
12月-07-92	ICHILE MORRON		088	10	KGS.	3,000	30,000
" 10 "	ICHILE MORRON		089	10	"	3,000	30,000
" 14 "	ICHILE MORRON		090	13	"	3,000	39,000
" 17 "	ICHILE MORRON		091	9	"	3,000	27,000
" 21 "	ICHILE MORRON		092	15	"	3,000	43,500
" 28 "	ICHILE MORRON		093	34	"	3,000	100,500
1月-08-92	ILECHUGA	レタス	002	50	PIEZAS	800	40,000
" 16 "	ILECHUGA		006	32	"	800	25,600
" 21 "	ILECHUGA		007	22	"	800	17,600
11月-05-92	ILIMON	レモン	077	15	KGS.	2,000	30,000
8月-27-92	INELON	メロン	061	72	KGS.	2,571	185,143
" 31 "	INELON		062	13	"	2,590	33,670
9月-03-92	INELON		063	30	KGS.	2,857	85,721
11月-12-92	INELON		080	30	KGS.	2,000	60,000
" 16 "	INELON		081	51	"	2,000	102,000
" 19 "	INELON		082	41	"	2,000	81,000
" 23 "	INELON		083	28	"	2,000	56,000
" 26 "	INELON		084	91	"	2,000	182,000
12月-03-92	INELON		086	53	KGS.	3,000	159,000
6月-11-92	IPAPA	ジャガイモ	044	43	KGS.	1,312	56,410
" 15 "	IPAPA		045	190	"	1,405	267,001
6月-18-92	IPEPINO		046	31	KGS.	708	21,934
" 25 "	IPEPINO		047-BIS	25	"	800	20,000
8月-10-92	IPEPINO	キュウリ	056	53	KGS.	1,579	83,684
" 13 "	IPEPINO		057	32	"	1,273	40,727
" 17 "	IPEPINO		058	46	"	1,429	65,714
" 20 "	IPEPINO		059	32	"	1,217	38,956
" 24 "	IPEPINO		060	35	"	1,304	45,652
" 27 "	IPEPINO		061	25	"	1,857	46,667
" 31 "	IPEPINO		062	60	"	1,333	80,000
9月-03-92	IPEPINO		063	35	KGS.	1,333	46,667
" 07 "	IPEPINO		064	60	"	1,647	98,824
" 10 "	IPEPINO		066	42	"	1,556	65,333
" 14 "	IPEPINO		066BIS	44	"	1,556	68,444

日付	品目	個数 No.	量	単位	単価	小計	合計
10月-17	IPEPINO	067	27		1,400	37,800	
10月-21	IPEPINO	068	27		1,400	37,800	
10月-28	IPEPINO	069	18		1,389	25,000	379,867
10月-01-92	IPEPINO	070	10	KGS.	1,429	14,286	
10月-05	IPEPINO	071	6		1,515	9,091	
10月-08	IPEPINO	072	11		1,200	13,200	
10月-12	IPEPINO	073	12		1,500	18,000	
10月-26	IPEPINO	075	35		1,411	49,385	103,962
11月-09-92	IPEPINO	078	25	KGS.	1,352	33,800	
11月-12	IPEPINO	080	18		1,352	24,336	
11月-16	IPEPINO	081	25		1,352	33,800	
11月-19	IPEPINO	082	13		1,352	17,576	
11月-23	IPEPINO	083	20		1,120	22,400	
11月-26	IPEPINO	084	10		1,106	11,060	
11月-30	IPEPINO	085	13		1,130	14,690	157,662
1,084,826							
2月-20-92	IRABANITO	015	20	MAZOS	367	7,333	
2月-24	IRABANITO	016	20		333	6,667	14,000
14,000							14,000
1月-05-92	IROPOLLO	001	23	KGS.	1,000	23,000	
1月-08	IROPOLLO	002	87		1,000	87,000	
1月-11	IROPOLLO	004	80		1,000	80,000	
1月-14	IROPOLLO	005	100		1,000	100,000	
1月-16	IROPOLLO	006	87		1,000	87,000	
1月-21	IROPOLLO	007	63		1,000	63,000	
1月-23	IROPOLLO	008	65		1,000	65,000	
1月-27	IROPOLLO	009	118		1,257	148,326	
1月-30	IROPOLLO	010	53		1,128	59,784	713,110
2月-03	IROPOLLO	011	100	KGS.	1,158	115,789	
2月-10	IROPOLLO	012	85		1,158	98,421	
2月-13	IROPOLLO	013	90		1,158	104,210	318,420
4月-06-92	IROPOLLO	026	81	KGS.	646	52,315	
4月-21	IROPOLLO	028	80		838	67,059	
4月-23	IROPOLLO	029	87		862	74,989	
4月-27	IROPOLLO	030	84		853	71,657	
4月-30	IROPOLLO	031	118		731	86,279	352,300
5月-04-92	IROPOLLO	032	33	KGS.	680	22,440	
5月-07	IROPOLLO	033	112		791	88,616	
5月-11	IROPOLLO	034	101		791	79,517	
5月-14	IROPOLLO	035	108		791	85,451	
5月-18	IROPOLLO	036	48		756	36,266	
5月-21	IROPOLLO	037	77		756	58,177	
5月-25	IROPOLLO	038	79		756	59,688	430,155
6月-04-92	IROPOLLO	041	124	KGS.	766	94,999	
6月-08	IROPOLLO	043	83	KGS.	950	78,850	
6月-11	IROPOLLO	044	97		970	94,058	
6月-15	IROPOLLO	045	145		1,311	190,165	
6月-18	IROPOLLO	046	95		480	45,600	
6月-22	IROPOLLO	047	100		480	48,000	
6月-25	IROPOLLO	1047-BISI	100		750	75,000	
6月-29	IROPOLLO	048	97		750	72,750	699,421

日付	品目	個 No.	量	単位	単価	小計	合計
7月-02-92	IREPOLLO	049	97	KGS.	727	70,545	70,545
9月-14-92	IREPOLLO	1066015	203	KGS.	1,667	338,334	
17	IREPOLLO	067	213	"	1,408	300,000	
21	IREPOLLO	068	72	"	1,143	82,286	
28	IREPOLLO	069	89	"	909	80,909	801,529
10月-26-92	IREPOLLO	075	39	KGS.	900	35,100	
29	IREPOLLO	076	45	"	800	36,000	71,100
11月-05-92	IREPOLLO	077	152	KGS.	800	121,600	
09	IREPOLLO	079	147	"	800	117,600	
12	IREPOLLO	080	158	"	800	126,400	
16	IREPOLLO	081	167	"	800	133,600	
19	IREPOLLO	082	95	"	800	75,600	
23	IREPOLLO	083	110	"	800	88,000	652,800
9月-08-92	ISANDIA	065	127	KGS.	800	101,600	101,600
11月-12-92	ISANDIA	080	180	KGS.	500	90,000	90,000
4月-21-92	ITOMATE	028	40	KGS.	1,500	60,000	
23	ITOMATE	029	42	"	1,500	63,000	
30	ITOMATE	031	62	"	1,500	93,000	216,000
5月-04-92	ITOMATE	032	90	KGS.	1,500	135,000	
07	ITOMATE	033	90	"	1,500	135,000	
11	ITOMATE	034	92	"	1,500	138,000	
14	ITOMATE	035	98	"	1,500	147,000	
18	ITOMATE	036	101	"	1,500	151,500	
21	ITOMATE	037	108	"	1,500	162,000	
25	ITOMATE	038	150	"	1,500	225,000	
28	ITOMATE	039	164	"	1,500	246,000	1,339,500
6月-01-92	ITOMATE	040	136	KGS.	1,500	204,000	
04	ITOMATE	041	87	"	1,500	130,500	
06	ITOMATE	042	77	"	1,500	115,500	
08	ITOMATE	043	36	"	1,500	54,000	
11	ITOMATE	044	44	"	1,500	66,000	
15	ITOMATE	045	50	"	1,500	75,000	
18	ITOMATE	046	30	"	1,500	45,000	
22	ITOMATE	047	27	"	1,500	40,500	
25	ITOMATE	1047-BIS1	33	"	1,500	49,500	
29	ITOMATE	048	47	"	1,500	70,500	850,500
7月-06-92	ITOMATE	050	53	KGS.	1,500	79,500	
23	ITOMATE	053	67	"	1,500	100,500	
27	ITOMATE	054	69	"	1,500	103,500	
30	ITOMATE	055	93	"	1,500	139,500	423,000
8月-10-92	ITOMATE	056	191	KGS.	1,500	286,500	
13	ITOMATE	057	113	"	1,500	169,500	
17	ITOMATE	058	138	"	1,500	207,000	
20	ITOMATE	059	70	"	1,500	105,000	
24	ITOMATE	060	53	"	1,500	79,500	
27	ITOMATE	061	20	"	1,500	30,000	
31	ITOMATE	062	23	"	1,500	34,500	912,000
9月-07-92	ITOMATE	064	19	KGS.	1,500	28,500	28,500
10月-12	ITOMATE	073	33	KGS.	1,500	49,500	

日付	品目	数量	単位	単価	小計	合計
11月-15	ITOMATE	11		1,500	16,500	
11月-26	ITOMATE	44		1,500	66,000	
11月-29	ITOMATE	26		2,500	65,000	197,000
11月-05-92	ITOMATE	35	KGS.	3,000	105,000	
11月-12	ITOMATE	27		3,000	81,000	
11月-16	ITOMATE	11		3,000	33,000	
11月-23	ITOMATE	23		3,000	69,000	
11月-30	ITOMATE	31		3,000	93,000	381,000
12月-03-92	ITOMATE	20	KGS.	1,500	30,000	
12月-07	ITOMATE	53		1,500	79,500	
12月-10	ITOMATE	58		1,500	87,000	
12月-14	ITOMATE	101		1,500	151,500	
12月-17	ITOMATE	59		1,500	88,500	
12月-21	ITOMATE	69		1,500	103,500	
12月-28	ITOMATE	193		1,500	289,750	
12月-30	ITOMATE	44		1,500	66,000	894,750
1月-06-92	IZANAHORIA	30	MAZOS	750	22,500	5,242,250
1月-08	IZANAHORIA	15		750	11,250	
1月-09	IZANAHORIA	20		750	15,000	
1月-16	IZANAHORIA	29		750	21,750	
1月-21	IZANAHORIA	21		750	15,750	
1月-27	IZANAHORIA	48		750	36,000	
1月-30	IZANAHORIA	30		750	22,500	144,750
2月-03	IZANAHORIA	49	MAZOS	750	36,750	
2月-10	IZANAHORIA	59		750	44,250	
2月-13	IZANAHORIA	25		750	18,750	
2月-17	IZANAHORIA	53		750	39,750	
2月-20	IZANAHORIA	46		750	34,500	
2月-24	IZANAHORIA	50		750	37,500	211,500
3月-05	IZANAHORIA	50	MAZOS	750	37,500	
3月-09	IZANAHORIA	50		750	37,500	
3月-12	IZANAHORIA	75		750	56,250	
3月-16	IZANAHORIA	72		750	54,000	
3月-19	IZANAHORIA	50		750	37,500	222,750
4月-09-92	IZANAHORIA	40	MAZOS	750	30,000	
4月-21	IZANAHORIA	50		750	37,500	
4月-23	IZANAHORIA	40		750	30,000	
4月-27	IZANAHORIA	30		750	22,500	
4月-30	IZANAHORIA	61		750	45,750	165,750
5月-04-92	IZANAHORIA	100	MAZOS	750	75,000	
5月-07	IZANAHORIA	100		750	75,000	
5月-11	IZANAHORIA	100		750	75,000	
5月-14	IZANAHORIA	100		750	75,000	
5月-18	IZANAHORIA	100		750	75,000	
5月-21	IZANAHORIA	99		750	74,250	
5月-25	IZANAHORIA	96		750	72,000	
5月-28	IZANAHORIA	100		750	75,000	596,250
6月-01-92	IZANAHORIA	100	MAZOS	750	75,000	
6月-04	IZANAHORIA	97		750	72,750	

日付	品目	体 No.	量	単位	単価	小計	合計
08	IZANAHORIA 人参	043	107	"	750	80,250	
11	IZANAHORIA	044	100	"	750	75,000	
18	IZANAHORIA	046	110	"	750	82,500	
22	IZANAHORIA	047	49	"	750	36,750	422,250
9月-14-92	IZANAHORIA	1066BIS	48	HAZOS	750	36,000	36,000
統一計:						29,221,066	29,221,066
						1,799,250	1,799,250

JOSE LAMBERTO HERNANDEZ RENDOZA
ADMINISTRADOR DEL PROYECTO AGRICOLA

プロジェクトからESSAへの野菜の納入

日付	品目	体 No.	量	単位	単価	小計	合計
1月-04-93	IACELGAS	095	70.00	MAZOS	0.50	35.00	
" 07	IACELGAS	096	53.00	"	0.50	26.50	
" 11	IACELGAS	098	53.00	"	0.50	26.50	
" 14	IACELGAS	100	45.00	"	0.50	22.50	
" 19	IACELGAS	101	60.00	"	0.50	30.00	
" 21	IACELGAS	102	60.00	"	0.50	30.00	
" 25	IACELGAS	102-BIS	60.00	"	0.50	30.00	
" 28	IACELGAS	103	55.00	"	0.50	27.50	220.00
2月-01-93	IACELGAS	104	72.00	MAZOS	0.50	36.00	
" 04	IACELGAS	105	76.00	"	0.50	38.00	
" 09	IACELGAS	106	73.00	"	0.50	36.50	
" 11	IACELGAS	107	74.00	"	0.50	37.00	
" 15	IACELGAS	107-BIS	24.00	"	0.50	12.00	
" 18	IACELGAS	109	37.00	"	0.50	18.50	178.00
3月-01-93	IACELGAS	111	43.00	MAZOS	0.50	21.50	
" 04	IACELGAS	112	60.00	"	0.50	30.00	
" 08	IACELGAS	113	41.00	"	0.50	20.50	
" 11	IACELGAS	114	36.00	"	0.50	18.00	
" 15	IACELGAS	114-BIS	24.00	"	0.50	12.00	
" 18	IACELGAS	115	33.00	"	0.50	16.50	
" 22	IACELGAS	116	37.00	"	0.50	18.50	
" 25	IACELGAS	117	33.00	"	0.50	16.50	
" 29	IACELGAS	118	24.00	"	0.50	12.00	165.50
4月-15-93	IACELGAS	121	39.00	MAZOS	0.50	19.50	19.50
1月-11	IBETABEL	098	50.00	MAZOS	0.75	37.50	
" 14	IBETABEL	100	25.00	"	0.75	18.75	
" 19	IBETABEL	101	20.00	"	0.75	15.00	71.25
3月-01-93	IBETABEL	111	30.00	MAZOS	0.59	17.70	
" 04	IBETABEL	112	40.00	"	0.59	23.60	
" 08	IBETABEL	113	50.00	"	0.59	29.50	
" 11	IBETABEL	114	50.00	"	0.59	29.50	
" 13	IBETABEL	114-BIS	50.00	"	0.59	29.50	
" 22	IBETABEL	116	53.00	"	0.59	31.27	
" 25	IBETABEL	117	60.00	"	0.59	35.40	
" 29	IBETABEL	118	43.00	"	0.59	25.37	221.84
4月-12-93	IBETABEL	120	35.00	MAZOS	0.59	20.65	
" 15	IBETABEL	121	39.00	"	0.59	23.01	
" 19	IBETABEL	122	37.00	"	0.59	21.83	
" 22	IBETABEL	123	45.00	"	0.59	26.55	
" 26	IBETABEL	124	49.00	"	0.59	28.91	
" 29	IBETABEL	125	50.00	"	0.59	29.50	150.45
5月-03-93	IBETABEL	126	8.00	MAZOS	0.59	4.72	
" 06	IBETABEL	127	43.00	"	0.59	25.37	
" 10	IBETABEL	128	42.00	"	0.59	24.78	
" 13	IBETABEL	129	45.00	"	0.59	26.55	
" 20	IBETABEL	131	30.00	"	0.59	17.70	
" 24	IBETABEL	132	26.00	"	0.59	15.34	
" 27	IBETABEL	133	34.00	"	0.59	20.06	134.52
6月-03-93	IBETABEL	134	37.00	MAZOS	0.59	21.83	

プロジェクトからESSAへの野菜の納入

日付	品目	体積 No.	量	単位	単価	小計	合計
1月24日	BETABEL	141	16.00	°	0.59	9.44	
1月29日	BETABEL	142	21.00	°	0.59	12.39	43.66
7月-05-93	BETABEL	145	50.00	MAZOS	0.59	29.50	29.50
1月-07	BROCOLI	096	8.00	MAZOS	2.00	16.00	651.22
1月11日	BROCOLI	098	21.00	°	2.00	42.00	58.00
7月-10-	ICALABACITA	144	43.00	KGS.	1.81	77.83	58.00
1月12日	ICALABACITA	146	54.00	°	1.81	97.74	
1月15日	ICALABACITA	147	86.00	°	1.91	164.26	
1月19日	ICALABACITA	148	64.00	°	1.92	122.88	
1月22日	ICALABACITA	149	73.00	°	2.24	163.52	
1月26日	ICALABACITA	150	31.00	°	2.24	69.44	
1月29日	ICALABACITA	151	112.00	°	1.50	168.00	863.67
4月-26-93	ICEBOLLA	124	42.50	KGS.	1.50	63.75	863.67
1月29日	ICEBOLLA	125	59.00	°	1.50	88.50	152.25
5月-03-93	ICEBOLLA	126	64.00	KGS.	1.50	96.00	
1月06日	ICEBOLLA	127	78.00	°	1.50	117.00	
1月10日	ICEBOLLA	128	61.00	°	1.50	91.50	
1月13日	ICEBOLLA	129	53.00	°	1.50	79.50	
1月17日	ICEBOLLA	130	154.00	°	1.50	231.00	615.00
6月-24-	ICEBOLLA	141	50.00	KGS.	1.45	72.50	
1月29日	ICEBOLLA	142	60.00	°	1.45	87.00	159.50
1月11日	ICOLIFLOR	098	31.00	PIEZA.	2.79	86.49	926.75
1月14日	ICOLIFLOR	100	50.00	°	2.79	139.50	
1月19日	ICOLIFLOR	101	50.00	°	2.89	144.50	
1月21日	ICOLIFLOR	102	79.00	°	2.18	172.22	542.71
1月-04-93	ICHILE CALIFORNIA	095	55.50	KGS.	2.70	149.85	542.71
1月11日	ICHILE CALIFORNIA	098	83.00	°	2.70	224.10	
1月25日	ICHILE CALIFORNIA	1102-BISI	39.50	°	2.70	106.65	
1月28日	ICHILE CALIFORNIA	103	41.00	°	2.70	110.70	591.30
1月09日	ICHILE CALIFORNIA	105	79.00	°	2.70	213.30	
1月11日	ICHILE CALIFORNIA	107	39.00	°	2.70	105.30	
1月15日	ICHILE CALIFORNIA	1107-BISI	40.00	°	2.70	108.00	
1月18日	ICHILE CALIFORNIA	109	46.50	°	2.70	125.55	552.15
4月-04-	ICHILE CALIFORNIA	112	22.00	KGS.	2.70	59.40	59.40
5月-10-	ICHILE CALIFORNIA	128	18.00	KGS.	2.70	48.60	
1月17日	ICHILE CALIFORNIA	130	39.00	°	2.70	102.60	
1月24日	ICHILE CALIFORNIA	132	64.00	°	2.70	172.80	324.00
6月-07-	ICHILE CALIFORNIA	135	82.50	KGS.	2.70	222.75	
1月14日	ICHILE CALIFORNIA	137	88.00	°	2.70	237.60	
1月21日	ICHILE CALIFORNIA	139	114.00	°	2.70	307.80	768.15
7月-05-93	ICHILE CALIFORNIA	143	44.00	KGS.	2.70	118.80	118.80
1月-04-93	ICHILE MORRON	095	13.00	KGS.	3.00	39.00	2,413.80
1月07日	ICHILE MORRON	096	8.00	°	3.00	24.00	
1月11日	ICHILE MORRON	098	25.00	°	3.00	75.00	
1月19日	ICHILE MORRON	101	17.00	°	3.00	51.00	
1月25日	ICHILE MORRON	1102-BISI	10.00	°	3.00	30.00	
1月28日	ICHILE MORRON	103	1.30	°	3.00	3.90	222.90
2月-18-	ICHILE MORRON	109	8.00	°	3.00	24.00	24.00
3月-15-	ILECHUSA	1114-BISI	51.00	PIEZA	1.00	51.00	246.90

プロジェクトからESSAへの野菜の納入

日付	品目	枚数 No.	量	単位	単価	小計	合計
18	ILECHUGA	レタス	115	107.00	1.00	107.00	
22	ILECHUGA		116	174.00	1.00	174.00	
25	ILECHUGA		117	256.00	1.00	256.00	
29	ILECHUGA		118	366.00	1.70	622.20	1,210.20
3月-01	IRABANOS		111	25.00	MAZOS	0.50	12.50
08	IRABANO	ラディッシュ	113	36.00	0.50	18.00	
11	IRABANO		114	38.00	0.50	19.00	49.50
1月-04	IROPOLLO	キャベツ	095	79.00	KGS.	1.33	105.07
07	IROPOLLO		096	161.50	1.64	264.86	
11	IROPOLLO		098	237.00	1.64	388.68	
14	IROPOLLO		100	312.00	1.64	511.68	
19	IROPOLLO		101	443.00	1.90	841.70	
21	IROPOLLO		102	312.00	1.90	592.80	
25	IROPOLLO		102-BIS	129.50	0.96	124.32	
28	IROPOLLO		103	119.00	0.96	114.24	2,943.35
2月-01	IROPOLLO		104	102.50	KGS.	0.96	98.40
04	IROPOLLO		105	112.00	0.96	107.52	205.92
4月-01	IROPOLLO		119	78.00	KGS.	0.90	70.20
12	IROPOLLO		120	138.00	0.90	124.20	
15	IROPOLLO		121	191.00	0.77	147.07	
19	IROPOLLO		122	243.00	0.77	187.11	
22	IROPOLLO		123	152.00	0.77	117.04	
26	IROPOLLO		124	71.00	0.75	53.25	698.87
5月-24	IROPOLLO		132	47.00	KGS.	0.90	42.30
27	IROPOLLO		133	53.00	0.79	41.87	84.17
6月-03	IROPOLLO		134	110.00	KGS.	0.86	94.60
07	IROPOLLO			175.00	0.97	169.75	
10	IROPOLLO		136	185.50	0.90	166.95	
14	IROPOLLO		137	153.00	0.90	137.70	
17	IROPOLLO		138	124.00	0.90	111.60	
21	IROPOLLO		139	187.00	0.90	168.30	848.90
1月-08	ITOMATE GDE.	トマト (大)	097	105.00	KGS.	4.43	465.15
11	ITOMATE GDE.		098	139.00	4.43	615.77	
12	ITOMATE GDE.		099	58.50	4.00	234.00	1,314.92
1月-19	ITOMATE MEDIANO	トマト (中)	101	335.00	KGS.	3.00	1,005.00
21	ITOMATE MEDIANO		102	61.50	3.00	184.50	
25	ITOMATE MEDIANO		102-BIS	122.00	3.00	366.00	
28	ITOMATE MEDIANO		103	31.50	3.00	94.50	1,650.00
1月-04	ITOMATE CHICO	トマト (小)	095	228.50	KGS.	1.50	342.75
07	ITOMATE CHICO		096	39.00	1.50	58.50	
11	ITOMATE CHICO		098	69.00	1.50	103.50	
12	ITOMATE CHICO		099	79.00	2.00	158.00	
14	ITOMATE CHICO		100	71.00	2.00	142.00	804.75
2月-01	ITOMATE	トマト	104	125.00	KGS.	3.00	375.00
04	ITOMATE		105	106.00	3.00	318.00	
09	ITOMATE			10.50	3.00	31.50	
10	ITOMATE		106	170.00	3.00	510.00	
15	ITOMATE		107-BIS	27.50	3.00	82.50	
17	ITOMATE		108	81.00	KGS.	3.00	243.00

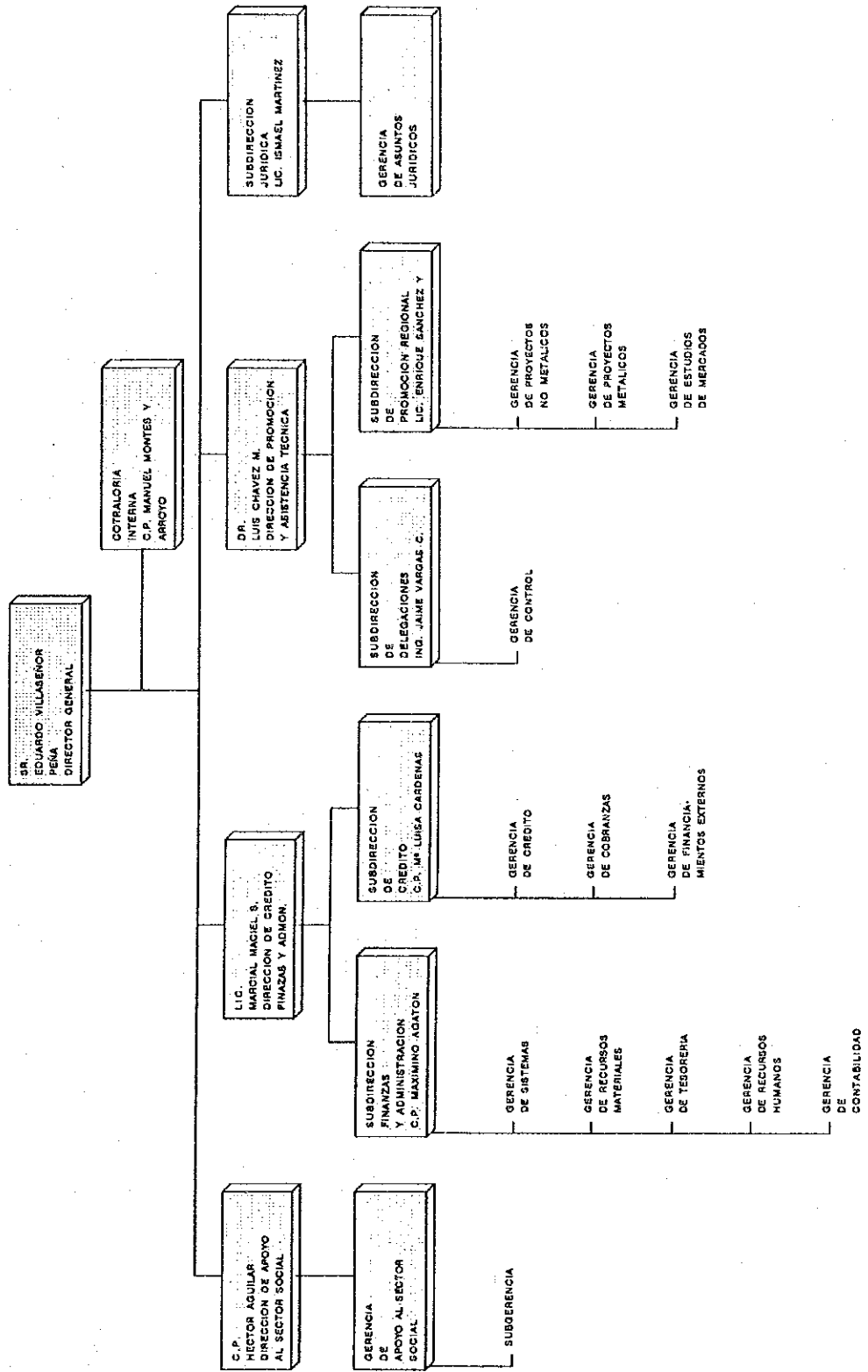
プロジェクトからESSAへの野菜の納入

日付	品目	体積 No.	量	単位	単価	小計	合計
1月18日	ITOMATE		109		3.00	159.00	
1月18日	ITOMATE		110		3.00	96.00	1,815.00
3月-01日	ITOMATE		111	KGS.	3.00	100.50	
1月08日	ITOMATE		113		3.00	45.00	145.50
4月-15-93	ITOMATE		121	KGS.	3.00	243.00	
1月19日	ITOMATE		122		3.00	96.00	
1月26日	ITOMATE		124		3.00	99.00	438.00
5月-13日	ITOMATE		129	KGS.	3.00	46.50	
1月24日	ITOMATE		132		3.00	81.00	127.50
6月-21日	ITOMATE		140	KGS.	3.00	135.00	
1月24日	ITOMATE		141		1.17	23.40	
1月29日	ITOMATE		142		1.08	33.48	191.88
7月-12日	ITOMATE		146	KGS.	1.08	77.76	
1月19日	ITOMATE		148		1.17	99.45	
1月26日	ITOMATE		150		1.25	33.75	210.96
2月-11日	IZANAHORIA		107	MAZO.	0.75	33.00	6,698.51
1月15日	IZANAHORIA		1107-BISI		0.75	27.00	
1月18日	IZANAHORIA		109		0.75	30.75	90.75
統一計						19,124.22	19,124.22
						19,124.22	19,124.22

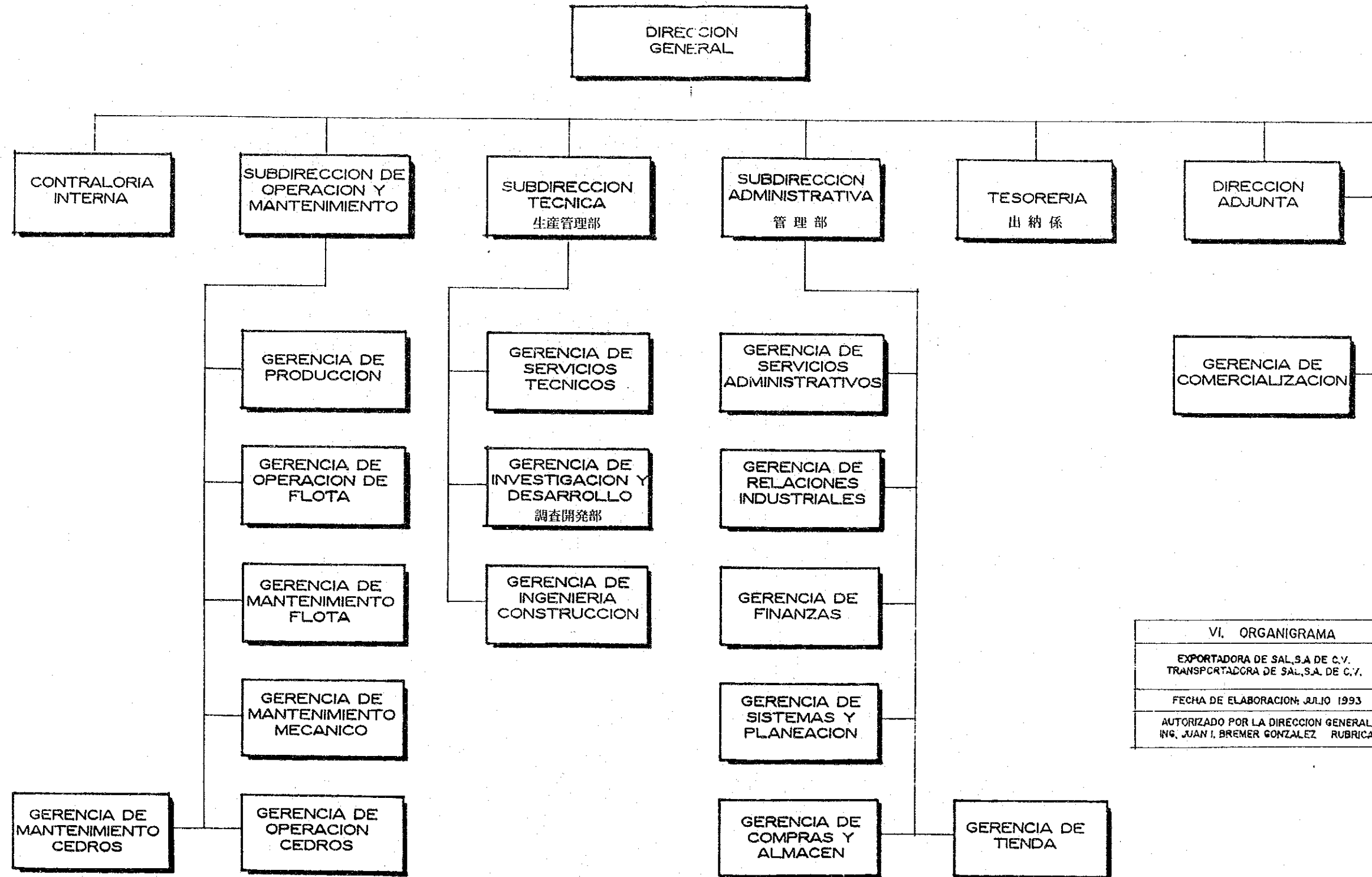
ATENTAMENTE
J. LAMBERTO HERNANDEZ M.

附屬資料 5. FFM、ESSA、及 SARH 組織圖

FIDEICOMISO DE FOMENTO MINERO
ORGANIGRAMA PROPUESTO 1993

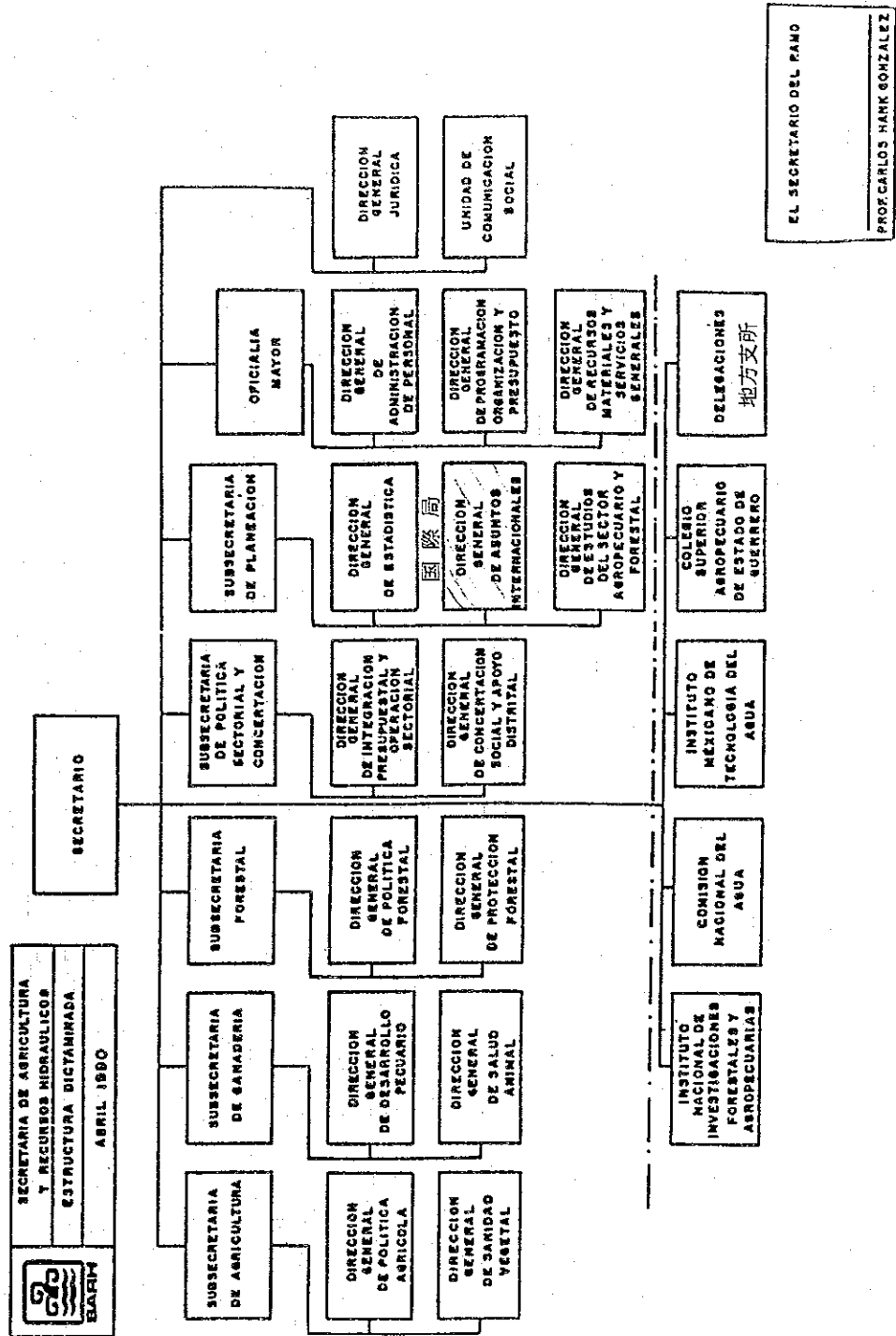


**EXPORTADORA DE SAL, S.A. DE C.V.
TRANSPORTADORA DE SAL, S.A. DE C.V.**



VI. ORGANIGRAMA
EXPORTADORA DE SAL, S.A. DE C.V. TRANSPORTADORA DE SAL, S.A. DE C.V.
FECHA DE ELABORACION: JULIO 1993
AUTORIZADO POR LA DIRECCION GENERAL ING. JUAN I. BREMER GONZALEZ RUBRICA

農業水資源省全体組織図



附属資料 6. 建物・施設の整備・維持管理・利用状況一覧表

	完成年度	整備	維持管理	利用	備考
本館	1989	良	良	良	
実験室	1992	良	良	良	実験室拡張あるいは1棟増設予定 (ESSA 1994年度予算)
圃場 (0.6ha)	1989	良	良	良	
圃場 (2.0ha)	1991	良	良	良	防鳥ネット設置完了
灌漑システム (0.6ha)	1989	良	良	良	
灌漑システム (2.0ha)	1991	良	良	良	
生活雑排水処理施設	1991	可	良	可	排水用貯水タンク増設工事予定
気象観測装置	1992	良	良	良	
果樹園 (0.6ha)	1983	可	可	良	
果樹園 (0.4ha)	1990	良	良	良	
果樹園 (0.7ha)	1991	良	良	良	
防風林	1990	良	良	良	
花卉園	1993	良	良	可	生活雑排水利用区画
コンピューター室	1992	良	良	良	
選果室	1991	良	良	良	氷温冷蔵庫 1993年7月末設置完了
肥料・農薬庫	1991	良	良	良	
農業機械収納庫	1991	良	可	良	1993年9月床張り工事着工予定
貯水槽	1989	良	良	良	
遮光ハウス	1991	良	良	良	ビニール張替え予定。ただし、資材損傷
車庫	1992	良	良	良	臨時に一角を発電機用に利用 ESSA 1994年度予算にて発電機用収納 庫建設予定

建物・施設の整備・維持管理・利用状況

建物・施設区分	年 月	整備・改良等項目
本館	1992年11月	改装（フロント、会議室、調整員執務室、書記執務室、トイレ、物置等を設置）
	1993年6月	パソコン一式入荷・供用開始
	1993年8月	無停電装置設置予定（予算通過・着工予定）
実験室	1993年3月	ドラフト配電盤整備（完全稼働）
	1993年6月	イオンクロマトグラフィ整備 （1993年度計画実験室増築未済）
圃場・付属施設	1993年5月	新圃場利用計画確定（各部門利用区・経営実証区の配分）
	7月	農機具庫大扉改修
	7月	水温冷蔵庫設置
	8月	新圃場防鳥網敷設完了 旧圃場防鳥網敷設予定
	9月	農機具庫床張り工事施工予定（資材調達中） ハウスのビニール張替え及びカンレイシャ被覆
灌漑システム 水槽	1993年4月	故障、予備ポンプに切替え運転。6月修理完了 端末の灌漑水圧が非常に低い
	7月	2回断水、自動調節弁点検。給水バルブ管理ミス（閉鎖）
生活雑排水処理施設	1992年3月	故障修理完了。稼働中。ただし流入量が多く、コントロールバルブが効かず、ESSAに予備タンク設置を要請中
気象観測装置	1993年6月	パソコン・8インチドライブ入荷。データ利用可能
果樹・防風林・花卉園		肥料・灌水不足で成長不良。萎縮

附属資料7. 主要供与機材・携行機材維持管理・利用状況一覧表(10万円以上)

本邦調達分

1993年8月1日現在

供与年度	機材名(規格・能力)	供与数	処分数	現有数	利用状況	管理状況
3	パソコン一式 (NEC PC9801FA2)	1式		1式	良	良
	実用積測定器 (大起理化 DIK1000)	1		1	良	良
	貫入式土壌硬度計 (大起理化 DIK5520)	1		1	良	良
	野菜結束機 (マックス HT-M2+HT-PU)	3		3	良	良
	卓上恒温水槽 (シバタ 85-K1)	1		1	良	良
	オートクレーブ (シバタ AS-300)	1		1	未	良
	孵卵器 (ヤマト 1S-82)	1		1	未	良
	データテーブル (コクヨ ECT-B118MMN)	1		1	良	良
	山中式土壌ピベット分析器 (大起理化 DIK2020)	1		1	良	良
	土壌振とう器 (大起理化 DIK2101)	1		1	良	良
	インキュベーター (ヤマト BT25)	1		1	良	良
	土壌置換容量測定装置 (エバーウエル 原田吉田式)	1式		1式	良	良
	収納庫 (コクヨ S-635G+S-635+S-614B)	3式		3式	良	良
	風速発信器 (牧野 AF750)	6		6	未	良
	多測点変換器 (牧野 AS616)	1		1	未	良
	観測ポール (牧野 PM603)	1組		1組	未	良
	記録計 (牧野 EA800-06)	1		1	未	良
	高速冷却遠心機 (日立 CX20B2)	1式		1式	良	良
	水質分析器 (セントラル科学 HACK DR/300)	1		1	未	良
	携帯用PHメーター (セントラル科学 UC-23)	1		1	未	良

供与年度	機材名(規格・能力)	供与数	処分数	现有数	利用状況	管理状況
	携帯用SS測定器 (セントラル科学 DREL / 2000-01)	1		1	良	良
	携帯用デジタル残留塩素計 (セントラル科学 UC-5)	1		1	良	良
	水質チェッカー (堀場 U-10 10m用)	1		1	良	良
	水質チェッカー (堀場 U-10 2m用)	1		1	良	良
	大腸菌検出セット (シバタ LE-1)	1組		1組	良	良
	プレハブ氷温冷蔵庫 (サンヨー S22-2.5SF)	1		1	良	良
	陰イオン分析カラム (島津 IC-A1)	2		2	良	良
	陽イオン分析カラム (島津 IC-C1)	1		1	未	良
4	多容積土壌PF測定装置 (大起理化 DK-3440)	1式		1式	良	良
	土壌水分計 (ノースハイテック 1DL -1600-DD)	1式		1式	可	良
	データロガー (英弘精機 SOLAC III MP-90)	1		1	未	良
	電子台秤 (ザルトリウス F3200S)	2		2	良	良
	データ収集用ノート型パソコン (東芝 J3100SX)	1		1	良	良
	不飽和透水係数測定器 (大起理化 DIK-4150)	1式		1式	未	良
	砂柱法キット (大起理化 DIK-3520)	1式		1式	良	良
	ルートスキャナー (グンゼ産業 CF-400)	1		1	未	良
	双眼対物顕微鏡 (井内盛栄堂 SPT-30)	1		1	良	良
	超音波洗浄器 (東京理化器械 AU-85C)	1		1	良	良
	書類整理庫 (コクヨ SK-B13)	1		1	良	良

供与年度	機材名 (規格・能力)	供与数	処分数	現有数	利用状況	管理状況
3	車両 (ドッジ ラムチャージャー)	1		1	良	良
	拡声装置 (パソ P4200)	1式		1式	良	良
	無線電話(携帯電話) (モトローラ 500W/BAT)	2		2	未	良
	スクーター (ヤマハ RIVA200)	2		2	良	良
	群内微気象観測装置 (ライカー社 LI-1000)	1式		1式	良	良
	微気象観測装置 (ダイナマックス社 Q-6)	1式		1式	未	良
	テラー (ヤンマー YG8-R)	1		1	良	良
	トラクター (ヤンマー KE-3A)	1		1	良	良
4	発電機 (オナン 35EK)	1		1	据付中	良
	双眼対物顕微鏡 (エドモンドサイエンティフィック)	1		1	良	良
	カラービデオカメラ (ソニー SSC-C350)	1		1	良	良
	超音波振動装置 (ソニックス VC60 HIGH TECH)	1		1	未	良
	水質チェッカー (堀場 U-10)	1		1	良	良
	密度計 (メトラー DA-110)	1		1	良	良
	温度グラフィック計 (オメガライン 600A-06)	1式		1式	良	良
	マグネチックスターラー (ラブライン 120V 1850W)	1		1	良	良
	クリーンベンチ (フィッシャーサイエンティフィック 70")	1式		1式	未	良
	ウォーターバス (トーマスサイエンティフィック 9818-R30)	1		1	良	良
	オープン (フィッシャーサイエンティフィック 13-246-6557)	1		1	良	良
	恒温水槽 (フィッシャーサイエンティフィック 13-874-110B)	1		1	未	良

現地調達分

1993年8月1日現在

供与年度	機材名（規格・能力）	供与数	処分数	現有数	利用状況	管理状況
	アルベド計測器（ノバリンクス 3023）	1式		1式	未	良
	土中塩分計（ソイルモイスター 5500）	1式		1式	未	良
	水ポテンシャル測定装置（ウェスコ社 HR-33T）	1式		1式	未	良
	蒸気圧法超微量浸透圧計（ウェスコ社 5500）	1		1	未	良

携行機材分

1993年8月1日現在

供与年度	機材名（規格・能力）	供与数	処分数	現有数	利用状況	管理状況
4	パソコン（NEC PC-9801NS/L）	1式		1式	良	良
	プリンター（キャノン BJ-300J）	1		1	良	良

附属資料 8. 関係機関会議概要

8-1 1993年6月4日開催

プロジェクト関係機関協議会要録

藤井嘉儀

日 時	1993年6月4日	10時30分～15時40分
場 所	メキシコ・シティ	SARH国際総局 会議室
出席者	メキシコ側 FFM SARH CONAZA プロジェクト側 JICA 通訳	ダンテ・ドミンゲス マルタ・フローレス グロリア・クルス 他書記2名 ペドロ・ベレス (南バハカリフォルニア) 今井 伸 (専門家) ホセ・アンヘル・デ・ラ・クルス 藤井嘉儀リーダー、大槻恭一専門家 川上哲也調整員、C/P ラウル L. 加藤誠治 鈴木恵子

議 事

議事の開始にともないマルタが議題に関する概要・経緯を紹介、前回のミニッツを確認し承認した。また、今回の協議会の結果は8月に開催される合同委員会に提案される旨、説明があった。

その中で、1995年以降のプロジェクトサイトの処置に関して、SARH内部ではアントニオ・ナロ大学を継承機関に決定した旨、報告があった。

議 題

1. VALIDACIONの実施について

この語訳を「実証圃場」として協議が進められたが、討議の間、この語の解釈にメキシコ側とプロジェクト側の見解に誤解があることがわかり、見解を統一して話し合った結果、次の合意を得た。

- ① プロジェクト内部で実証圃場を実施して欲しいとの要請には、プロジェクト自体の意志として、本年度0.5ヘクタールの実施を予定していることを提案した。この圃場で数作物の実証栽培を行うという当方の意見と、実証には1作物当たり0.5ヘクタールが必要とのSARH側の見解が合わなかったが、話し合いの過程でメキシコ側のVALIDACIONの解釈と、

日本人側の解釈に違いがあり、日本人側の解釈している内容は、メキシコでは「実証区」と言うとのことで、日本側の見解が採択され、プロジェクト内部では複数作物の「実証区」を設定し、これをメキシコ側研究機関等に公開することで決着した。なお、この実証区の計画に当たってはメキシコ側の意見も参考とすることに合意した。

- ② この実証区の成果を参考に、1994年にVALIDACIONを開設することが合意された。この実証圃場の設置は、投資家を確保し大規模農場の開設、生産者への普及等を目的としており、実証圃場の成果が鍵を握ることになる。

実証圃場実施要項

- 1) 実施主体はSARHとし、プロジェクトは技術協力をする。
- 2) 実施には実証試験を希望する生産者の農場を使用、設備、資金、リスク等はすべて農場の負担とする。
- 3) プロジェクトは技術指導の相談に応じ、実際の運営責任はない。
- 4) 実証圃場の実施に当たり、プロジェクト側が実験的要素を加えることは可能。
- 5) 実証圃場の開設はゲレロ・ネグロ、ビスカイノ、そのほか2か所を予定。
- 6) 10月には開設準備にかかる。

2. 第2回メキシコ沙漠地域研究セミナーの開催について

- ① 主催はCONAZA
- ② 開催地はメキシコ本土
- ③ 開催時期は9月末
- ④ テーマはSARH案としては「沙漠地域における持続的農業」。希望テーマを募る。

非常に熱心な討議が長時間続き、時間不足であったが上記2議題を審議した。肝腎なプロジェクト終了後の継承問題に対しては、議事開始時にマルタが説明したのみにとどまり、協議されなかったが、SARH側でも内部で話し合ったというだけで、当事者のナロ大学の意志はまだ確認されていない模様で、実質的には進捗していないようであった。

その後の経過

(1) 実証区に対するメキシコ側の対応

6月16日INIFAPとDELEGACIONから3名来訪し、実証区および実証圃場の設定に関する意見交換等を行った。後日メキシコ・シティの今井伸専門家から、この会合に対してベ

ドロ・ベレスから不満が寄せられている旨、報告があったが、会合の内容が彼によく伝わっていないための誤解であることが判明。一般にメキシコ人は上司や同僚に会合等の情報を伝達するのが不得手らしいことを痛感した。

(2) 実証区（経営実験圃場）の耕種計画

0.5ヘクタールの耕種計画でチレ、トマト、レポージョ（キャベツ）、セボージャ（タマネギ）の4作物を、1/4面積ずつ作付けすることを決定した。上記の会合でのメキシコ側の提案を参考に、プロジェクトで実施している最適施肥量・灌水量と近隣農家の実施している量との比較試験を組み込むことが基本。当地で慣行的に行われている灌水量が未だ把握されておらず、ビスカイノのエヒドにC/Pのラウルを派遣し聴き取り調査させ、その結果、概ねプロジェクトの5倍～8倍の灌水量であることが推定された。

実証区における灌水は、チレについてはプロジェクト基準で2.2ミリ、ビスカイノ基準で10ミリとして実施することとした。なお、施肥量は両者とも現行実施量をそのまま用いることとした。

なお、チレは7月9日に定植した。レポージョは育苗管理に失敗し直ちに再播種した。全般に育苗管理が不徹底であり、各作物担当責任者にマルコ、アルバロ、アルマンド、オスカルを選出させた。

8-2 1993年8月19日開催

関連機関会議（8月19日開催）

標記会議において、合同委員会にて「メ」側より本プロジェクトの評価にかかる幾つかの提案がなされる旨、発表があった。プロジェクトよりは現在の進捗状況を報告した。

以下に出席者一覧を示す。

EXPORTADORA DE SAL, S. A. DE C. V.

PROYECTO AGRICOLA

LISTA DE LA MISION E INVITADOS A LA III REUNION DE TRABAJO
PARA LA EVALUACION DE LOS AVANCES DEL PROYECTO AGRICOLA
EN GUERRERO NEGRO, B. C. S.

MISION JAPONESA :

DR. HIROSHI KONO.

LIDER DE MISION.

- Prof. Emérito, Facultad de Agricultura, Univ. de Tottori

DR. TOMOHISA YANO.

IRRIGACION.

- Director Centro Investigaciones de Tierras Áridas y Prof. de la Univ. de Tottori.

DR. RYUZO KOBARA.

CULTIVO.

- Profesor de Agricultura de la Univ. de Tottori.

SRITA. AKO MUTO.

COORDINADOR.

- Personal, Div. de Coop. Técnico Ganadería, (JICA).

SRA. SUZUKI KEIKO.

TRADUCTORA.

INVITADOS ESPECIALES :

J. I. C. A. :

SR. SEIJI KATO.

Subdirector J. I. C. A. Mexico.

F. F. M. :

ING. DANTE DOMINGUEZ M.

Coordinador de Apoyo Técnico.

E. S. S. A. :

LIC FERNANDO UR DANIVIYA.

Director General de E. S. S. A.

Subdirector Admvo. de E. S. S. A.

SARH-MEXICO :

LIC. EDUARDO JARAMILLO.

州当局知事代表

Secretario Técnico de la Dirección de Asuntos Internac.

LIC. MARTHA FLORES C.

Jefe del Depto. de Coop. Internacional.

CONAZA :

LIC. ROBERTO MONTANO. (欠)

Dirección de Investigación

Ing. ARACELI ARREDONDO VALDES (代理) Coordinador area

de investigacion

UNIV. A. A. ANTONIO NARRO :

ING. JOSE ANGEL DE LA CRUZ B.

Director de Cumunic. y Des. 学長

メキシコ支所代表部

GOBIERNO EDO. B. C. S. :

LIC. FERNANDO BERMUDEZ.

Representante del Gbo. Edo.

州開発振興部長

LIC. FRANCISCO BIO JAIME.

Srio. Fomeoto y Des. del Edo.

INVITADOS :

DELEGACION SARH-LA PAZ :

ING. GUILLERMO SANDOVAL L.

Jefe Prógrama Fomento Agrícola.

DELEGACION SAHR-MULEGE :

ING. MARTIN CERVANTES T.

Jefe Dist. de Desarrollo Rural

ING FRANCISCO DEL VAL.

Coordinador Defouento.

FIRCO :

ING. SIMON ORTIZ GURROLA.

Subgte. de Programación y Est.

PROYECTO AGRICOLA :

SR. JUAN ANTONIO FLORES Z.

Gte. de Invest. y Desarrollo.

DR. YOSHINORI FUJII.

Lider del Proyecto.

Experto en Agroecónomia.

EXPERTOS DE LARGO PLAZO :

LIC. TETSUYA KAWAKAMI.

Coordinador J. I. C. A.

M. C. MASANORI TOYOTA.

Experto en Ciencia Cultivos.

ING. SEISHI ARIYOSHI.

Experto en Agróecologia.

DR. KAZURO MOMII.

Experto en Riego y Drenaje.

JICA